



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
国際ロータリー第2670地区
地区活動方針

2021 - 2022
Rotary International District 2670
Shimanto-City, Kochi-Pref.





SERVE TO CHANGE LIVES



2021-2022年度国際ロータリー第2670地区

地区活動方針

2021-2022年度国際ロータリー [テーマ]

SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

地区活動方針 目次

実行委員長挨拶	地区研修・協議会実行委員長	青木 史仁	2
疑問・質問・意見について			3
2021-2022年度国際ロータリーのテーマ	国際ロータリー 2021-2022年度会長	シェカール・メータ	4
ガバナー挨拶	2020-2021年度ガバナー	篠原 徹	8
2021-2022年度地区運営方針	2021-2022年度ガバナー	東 邦彦	9
クラブ運営について	2021-2022年度地区研修リーダー	柳澤 光秋	12
ガバナーエレクト挨拶	2021-2022年度ガバナーエレクト	八田 光	14
ガバナーノミニエレクト挨拶	2021-2022年度ガバナーノミニ	吉岡 宏美	15

部門別方針

2021-2022年度ガバナー事務所からのお知らせ	地区代表幹事	大塚 和助	16
	地区会計長	松田 基	18
会員増強・維持・大会防止委員会	委員長	堀 祥二	49
クラブ奉仕委員会	委員長	杉本 一博	50
職業奉仕委員会	委員長	明神 三幸	51
社会奉仕委員会	委員長	大杉 幸雄	52
国際奉仕委員会	委員長	篠田日出海	53
長期交換小委員会	委員長	瀬野 長久	55
短期交換小委員会	委員長	竹内 康祐	56
国際奉仕ファンド小委員会	委員長	伊勢 英利	58
青少年奉仕委員会	委員長	藤原 賢治	59
インターアクト小委員会	委員長	門田 義仁	61
ローターアクト小委員会	委員長	西本 隆信	62
ライラ小委員会	委員長	米山 徹太	64
新世代小委員会	委員長	山内 浩司	66
ロータリー財団委員会	委員長	前田 直俊	67
	実行委員長	赤松 昭信	69
資金管理小委員会	委員長	堀 祥二	71
補助金・VTT小委員会	委員長	青木 博美	72
資金推進小委員会	委員長	山崎広一郎	73
奨学金・学友・平和フェロー小委員会	委員長	大森 克介	74
ポリオ・プラス小委員会	委員長	森脇 康之	75
米山記念奨学委員会	委員長	津田 久敬	76
広報・IT委員会	委員長	久保 英明	77
2021-2022年度地区大会のご案内	地区大会実行委員長	田辺 豊	78
地区研修・協議会実行委員会			79
決算見込み			80



2021-2022 年度 地区研修・協議会の通常開催中止にあたり

2021-2022 年度 地区研修・協議会
実行委員長 **青木 史仁**
(中村 RC)

昨年より未曾有の国難ともいべき新型コロナウイルス感染症により、国内の経済および社会活動などが停滞し、私たちの日常生活は一変しました。

ロータリー活動におきましても地区並びに、各クラブの事業活動など大半が中止や延期となっております。現在、我が国でもワクチン投与が始まっておりますが、まだまだ感染拡大は収まらず予断を許さない状況となっております。

また、国際ロータリー事務総長からも、「まずはロータリアンの安全を最優先とし、できる限りバーチャル（オンライン）での会合を強く推奨する」という通達もありました。

そんな中、ホストクラブとして、「2021-2022 年度地区研修・協議会」につきましては協議の結果、中止とさせていただきます。

7月よりの新年度を迎えるにあたり、「地区研修・協議会」は、ロータリアンの皆様が各委員会ごとに集まり、顔を合わせて友情を確かめ合い、年度の活動計画を協議する極めて重要な会議であります。各委員長はじめ会員各位には誠に申し訳ない限りではございますが、現状況をご理解いただきお許し願いたいと存じます。

従いまして昨年度に続き、2021～2022 年度シェカール・メータ RI 会長のメッセージおよび東ガバナーエレクトの運営方針、各委員会の活動方針などを「地区方針」として冊子にまとめ、全会員に配布することと致しました。各クラブにおかれましては、2021 - 2022 年度の活動を運営・推進するにあたりまして本冊子を参考にしていただけましたら幸甚に存じます。

なお、本件および冊子の内容につきまして、ご意見、ご質問等がございましたら、ガバナーエレクト事務所ホームページまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

(誠に勝手ではございますが、ご意見、ご質問等の受付は本年 6 月末日までとさせていただきます)。

最後になりますが、貴クラブの益々のご活躍をご祈念すると同時に、新型コロナウイルス感染症拡大が一日も早く終息することを心より願っております。

疑問・質問・意見について

各委員会の内容につきまして疑問・質問・意見がございましたら、2021 - 2022 年度ガバナー事務所ホームページ (<http://rid2670gov.info/>) のトップに、専用ページをご用意しました。

まずは、ガバナー事務所で受付をし、内容につきましては各委員長・小委員長の皆様に、会員様の疑問・質問・意見に対してのご返答をさせていただきます。

なお、この専用ページは、2021 年 6 月末を期限に意見の取りまとめをし、質疑応答として、後日各クラブに送付させていただきます。

[受付窓口]

2021 - 2022 年度ガバナー事務所

<http://rid2670gov.info/>

会長・幹事・会計

地区代表幹事 大塚 和助
会 計 松田 基

会員増強・維持・退会防止委員会

委員長 堀 祥二

クラブ奉仕委員会

委員長 杉本 一博

職業奉仕委員会

委員長 明神 三幸

社会奉仕委員会

委員長 大杉 幸雄

国際奉仕委員会

委員長 篠田 日出海

長期交換小委員会

委員長 瀬野 長久

短期交換小委員会

委員長 竹内 康祐

国際奉仕ファンド小委員会

委員長 伊勢 英利

青少年奉仕委員会

委員長 藤原 賢治

インターアクト小委員会

委員長 門田 義仁

ローターアクト小委員会

委員長 西本 隆信

ライラ小委員会

委員長 米山 徹太

新世代小委員会

委員長 山内 浩司

ロータリー財団委員会

委員長 前田 直俊
実行委員長 赤松 昭信

資金管理小委員会

委員長 堀 祥二

補助金・VTT 小委員会

委員長 青木 博美

資金推進小委員会

委員長 山崎 広一郎

奨学金・学友・平和フェロー小委員会

委員長 大森 克介

ポリオ・プラス小委員会

委員長 森脇 康之

米山記念奨学委員会

委員長 津田 久敬

広報・IT 委員会

委員長 久保 英明



RI 会長のメッセージ

Serve to Change Lives

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

2021-2022年度 国際ロータリー

会長 シェカール・メータ

ナマステ。ロータリーの世界各地から集まった「Movers and Shakers」の皆さん、こんにちは。地区ガバナーエレクトである皆さんは Movers (動かす人たち) であり、私は「シェカール」です。

今日、皆さんは、奉仕とリーダーシップの旅路において、とても大切な一步を踏み出します。これからの 17 カ月間は、皆さんの人生で最も素晴らしい、実りあるときとなるでしょう。この期間を、人生で最も充実したときとすることができます。この期間には、私たちが共有するロータリーのビジョンに導かれながら、大きな夢に向かってくださるようお願いいたします。皆さんは、計画を立て、目標を定め、その目標を達成するようロータリアンにインスピレーションを与えてやる気を引き出します。その目標とは、会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げるという目標、そして、世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらすという目標です。この旅路において、皆さんは、地区のロータリアンおよびローターアクターと目標を分かちあい、「もっと行動し、もっと成長する」ための意欲を喚起するという大きな役割を担います。これは、私たちを導く信念です。「もっと行動し」とは、より大きく、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることを意味します。

会員増強は引き続き、最も大きな課題です。

過去17年以上、ロータリーの会員数は120万人のまま横ばいとなっています。力を合わせて、こ

れからの 17 カ月間でこれを変えようではありませんか。変革者であるガバナーの皆さんには、会員増強という点で、今、ロータリー史上最大の変革をもたらす機会が訪れています。過去 17 年間にロータリーが達成できなかったことを、今後 17 カ月間に達成することにチャレンジしてください。

そんな夢は大きすぎる、とおっしゃるかもしれませんが。「夢は大きく」と私からお願いするのであれば、私自身が先頭に立たなければなりません。私がインスピレーションを受けた言葉の一つに、ジョージ・バーナード・ショーの次の言葉があります。「存在するものだけを見て、『なぜそうなのか』と考える人もいます。しかし私は、いまだかつて存在しないものを夢見て、『なぜそうでないのか』と考える」

ですから皆さん、夢は、2022年7月1日までに会員数を130万人に増やすことです。この信じられないような目標をどのように達成できるでしょうか。その答えは、「each one, bring one」、つまり、今後 17 カ月間に各ロータリアンが新会員一人を入会させるようお願いすることです。

皆さんがすべきことは、17 カ月間にたった一人を入会させるよう、地区のすべてのロータリアンにお願いするだけです。皆さんご自身が模範を示し、また地区内のクラブ会長にも模範を示してもらうことで、これを確実にできます。全クラブのロータリアンがこれを実行すれば、そのそれぞれが「変革者」となり、新たにロータリアンとな

る人の人生を永遠に変えることになるのです。

ガバナーエレクトの皆さん、私たちは、「もっと行動する」ために「もっと成長する」必要があります。私は常に、「超我の奉仕」というロータリーの標語に大きな感銘を受けてきました。この言葉は、人びとを思いやり、分かち合うことの大切さを教えてくれました。私にとって奉仕とは、自分よりもほかの人のことを先に考えることです。これについて、ロータリーでの私自身の体験をご紹介します。

ロータリークラブに入会したばかりの頃、手足が不自由な人のためのキャンプをクラブが実施しました。クラブはそこで、足の矯正具や義肢、ハンドサイクルを配布しました。全会員が役割を分担し、私の担当は、ハンドサイクルを受け取る人が、手で車輪をこぐ力があるかどうかを確認することでした。手を引っ張ってもらい、相手の力を測るのです。私は、担当場所に立ち、ハンドサイクルを受け取りに来る人を待っていました。すると、ある人が地を這って私に近づいてきました。その人は足がなく、言うことしかできなかったのです。私は彼に向かって手を差し出しましたが、その瞬間、正直なところ、私の頭にあったのはその人のことではなく、自分のことでした。自分の清潔さや健康について考えたのです。彼の手を握りたくありませんでした。しかし、彼の手を握り、その後もやって来る人 2、3 人の手を握りながら、自分のことだけを考えていました。しかし、6、7 人目の後に突然、この人たちが抱える苦境に共感し、彼らの痛みと困難を感じ、自分よりも彼らのことを考えるようになったのです。その瞬間、私は、単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになったのです。

その後間もなく、もっと多くのプロジェクトに参加するようになりました。35 年前、ロータリアンとして初めてインドの僻村に足を運んだとき、

同胞たちが抱える苦境を真に理解しました。彼らの家にはトイレがなく、水浴びをするのと同じ池の水を飲み、一本の樹の木陰を学校として使い、唯一の黒板は黒いペンキを塗った壁でした。一番近い保健センターは数マイル先で、ごく基本的な設備しかありません。私たちは、ロータリークラブを通じて、トイレを設置し、安全な飲み水を提供し、教育システムを改善し、世界級の医療設備を整えました。しかも、地元地域だけでなく、国中で。

ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました。奉仕が私の生き方になったのです。多くの方々と同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である”という信条を持つようになりました。模範的な賃借人でありたいと思っています。皆さんも、それぞれが奉仕の機会を見出されたことでしょう。目の不自由な人に見る力を与え、お腹を空かせた人に食べ物を与え、ホームレスの人に住む場所を提供した方もおられるでしょう。これらは、小さな奉仕の機会だったかもしれませんが、大規模なプロジェクトだったかもしれません。奉仕を定義するのは、奉仕の規模だけでなく、奉仕に対する姿勢です。

ガンディーはかつて、電車に乗ろうとしたときに、電車が動きだして片方のスリッパを落としてしまいました。ガンディーはとっさに、スリッパが落ちたところをめがけて、もう片方のスリッパを投げました。彼と一緒に旅行していた友人は、こう尋ねました。「なぜ投げたんだい？」。ガンディーはこう答えました。「あのスリッパを誰かが見つけるだろう。片方だけでは役に立たないから、もう片方も投げたのだよ」。これはささやかな奉仕の行為ですが、その姿勢は見事だと思います。私たちは、自分よりも先に人のことを考え

る心構えがあるでしょうか。ロータリアンである私たちにとって大切なのは、それだけです。

ロータリアンが過去 35 年間にポリオ根絶や人類への奉仕のために数十億ドルもの資金や多大なボランティア時間を費やしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。何千という学校や何百という病院を整え、干上がった村に水を提供し、家庭にトイレをつくって尊厳を取り戻し、何万という子どもの心臓手術を通じて命という贈り物をしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。ロータリアンが奉仕し続けるのは、人びとの人生を豊かにしたいという願いからです。ネパールでのあるプロジェクトでは、数千人もの人生がより豊かになり、アフリカでの家族保健プログラムと、ハイチでの水プロジェクトでは、それぞれ一千万人以上の人生がより豊かになりました。私の母国インドでは、識字と教育の T-E-A-C-H プログラムで、何百万もの子どもの人生にインパクトを与えました。

皆さんの多くが、このような奉仕プロジェクトで大切な役割を担われ、人びとの人生をより豊かにしてきたでしょう。奉仕のニーズがあるからこそ、皆さんは奉仕してこられたのです。今日、奉仕のニーズはさらに高まり、明白になっています。ですから、変革者であるガバナーの皆さん、来るロータリー年度には、人びとのために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していただけるよう、切にお願いいたします。この理由から、2021-22 年度の私たちのテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)といたします。

皆さんご自身が模範を示し、持続的なインパクトをもたらすプロジェクトへのロータリアンとローターアクターの参加意欲を引き出してください。ほかのロータリアンや、他団体、企業と手を取り合い、地域社会にインパクトをもたらすプロ

ジェクト、国や世界の人びとの人生を豊かにするプロジェクトを実施してください。ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもっとよくなったと感じるはずですよ。

奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。インドの偉大な思想家の一人であるヴィヴェーカーナンダは、こう言いました。「誰かを助けるとき、その人に恩を施していると考えないでください。実際には、その人たちがあなたに恩を施しているのです。私たちが世界から授かった恩恵への恩返しをする機会を与えてくれているのです」。ヴィヴェーカーナンダはさらに、次のような見事な言葉を加えました。「人生では、与える者、奉仕する者になりなさい。ただし、与えるときも奉仕するときも謙虚になり、ひざまずいて『与えさせていただけますか』『奉仕させていただきますか』とお願いする気持ちになりなさい」。

ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。アルバート・アインシュタインが言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。

奉仕イニシアチブに取りかかるにあたり、次年度の焦点は「女子のエンパワメント」となります。ロータリーの中核的価値観の一つは「多様性」です。ロータリーの DEI(多様性、公平さ、開放性)に対する信念を表した公式声明もあります。多くの場合、女子は不利な立場に置かれることが多く、私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。ロータリーはすべての子どもに奉仕しますが、特に「女子」に焦点を当てます。世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダー

である皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます。

「もっと行動し、もっと成長する」ための会長イニシアチブが計画されています。世界各地で、7つの重点分野に焦点を当てた7回の会長主催会議が開催されます。また、すべてのロータリークラブとローターアクトクラブが、ロータリアンとローターアクター、そして一般市民の参加を促すための「ロータリー奉仕デー」を実施することができます。ご自宅に最も近い場所で開催される会長主催会議にご参加いただくとともに、「ロータリー奉仕デー」に参加するよう全クラブに呼びかけてください。ローターアクターとインターアクターにも参加してもらいましょう。ロータリークラブによる何千もの「ロータリー奉仕デー」を通じて、ロータリーの活動を世界に紹介しようではありませんか。

変革者であるガバナーの皆さん、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、大きなインパクトをもたらすプロジェクトに組み込み、かつ会員数を史上初めて130万人にするという課題は、チャレンジに満ちています。このチャレンジに、皆さんの意欲は駆り立てられるでしょう。挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです。船は港にいれば安全ですが、船の目的は港にいないことではありません。海に出てこそ、船の目的が成就されます。変革者の皆さん、人生とは冒険であり、メンテナンスではありません。

最後に、テーマについて私が書いた詩をご紹介します。授けられた最大の贈り物は

誰かの人生に触れる力

変える力

違いをもたらす力

めぐりゆく命の中で

手を、心を、魂を

差し伸べるなら

魔法が起こる

歯車が回りだす…

ともに歯車を回そう

全人類の繁栄のために

私たちには力と魔法がある

奉仕しよう…

みんなの人生を豊かにするために…

皆さんがどこでこの演説をお聞きになっても、ここで皆さんに、胸に手を当て、私と一緒に宣誓していただきたいと思います：

「私たちには、奉仕し、みんなの人生を豊かにする力と魔法があります」

変革者の皆さん、準備は整っていますか？大きなチャレンジに立ち向かう準備ができていますか？奉仕する準備ができていますか？みんなの人生を豊かにする準備ができていますか？

私は準備ができています。皆さんも同じでしょう。ともに奉仕し、みんなの人生を豊かにしていこうではありませんか。



ガバナー挨拶

2020-2021年度
ガバナー 篠原 徹
(高松東 RC)

会員の皆様こんにちは。

早いもので、本年度(2020-2021年)の地区ロータリー活動もあとわずかな期間を残すだけとなりました。会員の皆様には、このコロナ禍の大変な時期に、年度を通してご協力、ご指導を賜り感謝申し上げます。年度の終わりに際し、5月に高松市において2日間の簡素化した地区大会開催を予定いたしておりますが、引き続き皆様のご協力をお願いいたす次第です。

振り返ってみますと、昨年春頃より世界中に拡大したパンデミック感染禍で、世界中が翻弄され大混乱を来しております。ロータリー活動も例外ではなく、多くの制約、制限を受けながらの運営を余儀なくされました。2020年1月の国際協議会出席、2月の地区PETS、DTTSの開催は可能でしたが、3月の地区研修・協議会は中止となり、代替の措置が取られました。その後も、地区レベルの各種セミナー、RYLA、青少年交換プログラム(RYE)等全て中止または延期となっております。各クラブレベルでも休会するクラブが多く出たのではないかと推察いたしております。

そのような状況下において救いだったことは、7月より開始されたガバナー公式訪問が、74クラブ全部において達成できましたことで、各クラブの皆様の協力のおかげだと思っております。改めて各クラブよりの温かい接遇に感謝いたしますと共に、ガバナーとして十分な責務を果たせたかと自問、反省いたしている次第です。

本年度のRI会長ホルガー・クナーク氏のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」であり、私の地区方針は「行動するロータリーを目指そう」といたしましたが、未曾有のコロナ禍で志半ばとなりました。この点はロータリーの寛容の精神で

お許しいただきたく、また、次年度に期待したいと存じます。

さて、次年度(2021-2022年)は高知中村ロータリークラブの東邦彦ガバナーエレクトが地区運営のリーダーシップを取られる予定ですが、コロナ禍の影響が持続している現下において、本年度同様になかなか難しい舵取りを余儀なくされることが予想されます。すでに、2021年1月の国際協議会はオンラインで開催され、3月の地区PETS会議は開催されましたが、DTTS、地区研修・協議会は中止とし、代替措置が取られるとのことでした。

次年度のRI会長はインドのシェカール・メーター氏と決まり、テーマは「Serve to Change Lives」(奉仕しよう、皆の人生を豊かにするために)となったようです。また、会員増強を特に強調され、「each one, bring one」(一人一人が会員を紹介して下さい)とのサブタイトルを掲げられているようです。東邦彦ガバナーエレクトの地区テーマは「Grow Rotarian」(成長しよう ロータリアン)となったようですが、コロナ禍を乗り越えてロータリーの更なる変化、発展を求め一層成長しようとの意志が込められていると思われまます。

変異株コロナウイルスの再拡大が報じられている昨今ですが、ワクチン接種も始まり、今年末頃にはかなり感染終息の道筋が見えてくるものと考えております。現ガバナーとして会員の皆様と共に、次年度の東邦彦ガバナーエレクトを支え、中村ロータリークラブ、また、四国74全クラブがチームとなって協力し、この難局を乗り越えたいと思っております。

皆様宜しく申し上げます。



2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区 [地区運営方針]

テーマ 「成長しようロータリアン」 Grow Rotarian

2021-2022年度

ガバナー 東 邦彦
(中村 RC)

国際ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で、
持続可能な良い変化を生む為に、
人々が手を取り合って
行動する世界を目指しています。
ポリオ根絶まであと一歩まできたロータリー
は次なる課題に取り組む構えができています。
より多くのなかまを迎い入れ、より大きなイン
パクトをもたらす、世界に変化を生み出す
ための新たなビジョンの実現に向けて、行動
を起こすときが来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを
達成するために、今後5年間の活動を方向づける
4つの優先事項が定められました。

- より大きなインパクトをもたらす。
- 参加者の基盤を広げる。
- 参加者の積極的な関わりを促す。
- 適応力を高める。

2021～2022年度会長のシェカール・メータ氏
のテーマは“Serve to Change Lives”（奉仕しよ
う みんなの人生を豊かにするために）です。

コロナ感染がパンデミックとなり世界を変えた
ように地球温暖化問題、近未来に予想される食糧
危機は、世界の政治経済も変えます。変化する世
界を支えていこうという壮大なテーマです。

ロータリーは友情からなる親睦を基本として成
立し、そしてそれぞれに繋がることにより活性化

します。同時に行う奉仕により100年拡大してき
ました。Serveとは群れて生活する人類の軋轢を
和らげ調整することと思います。思いやりの心が
原点と考えると serveの意味が深まります。

シェカール・メータ RI会長の行動計画は奉仕
にかかわる参加者の基盤を広げること Each One
Bring One「みんなで一人をクラブに入れよう」
です。世界で120万の RI会員数を一年で130万に
しようとする計画です。RIの中核言語は多様性、
公平性、開放性ですのでまずジェンダーの壁を取
り除き女性の入会を勧めること、女性の持つアイ
デア、心構え、行動をクラブは必要としています。
職業を持つ女性のみならず、ボランティアに興味
を持つ方、定年退職した方、家族会員などにも声
をかけてください。

肌の色、文化の違いを乗り越えて奉仕に参加し
ましょう。若い世代の参加者を募りましょう。若
い世代の持つ行動力、アイデアが必要です。クラ
ブの活性化になります。会員増強はクラブにとっ
て生命です。増強無しの一年はクラブの消滅を意
味します。会員増強の強化はクラブの活性化のみ
ならずクラブの未来です。コロナ感染で痛めつけ
られたクラブを救うのは、会員の皆様による会員
増強です。

■2021～2022年度地区運営方針

- 1) RIのテーマ及びロータリーの目標達成を目
指してロータリー活動を推進すること。
- 2) クラブにオンラインを取り入れること。

■ガバナーの行動方針

活力に満ちたリーダーを育成するためクラブの活性化を基本とする会員基盤の拡大。

「Grow Rotarian」 成長しようロータリアン。ロータリアンの成長とは例会その他で親睦を学びます。そして親睦を基本として、地区をまたいでロータリアン同士の繋がりを持つことです。

■ガバナー補佐の活動方針

- 1) クラブ会長のサポート。
- 2) IMの開催。

■クラブ会長へのお願い

- 1) ガバナー補佐と相談してクラブの活性化のための目標を立ててください。
- 2) プログラム委員長と相談して、会員スピーチを行ってください。
- 3) クラブの長期的な目標をお立てください。

■地区委員会活動目標

地区での奉仕を通じてロータリー活動を前進させ、定期的に委員会を開催して、委員の参加意識を高め、リーダーの育成を行う。

クラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会は従来の活動が可能です。国際奉仕委員会の短期、長期の青少年交換事業はコロナ感染のために2022年6月30日までできません。この委員会は7月から事業再開の調査、整備に入ります。

青少年奉仕委員会は暫くは活動を制限されますが来期は次第に改善する事を期待しています。

ロータリー財団は奉仕活動の源です。より多くの資金を集めて世界のために、良いことを行いましょう。

RI奉仕重点項目について、7番目に環境保全活動が入りました。奉仕の目標が大きくなりグローバル補助金、地区補助金が使いやすくなりました。米山奨学生は世界の若者に日本を良く知ってもらうために日本で学ぶ奨学生です。奨学生は日本と

世界を結ぶ架け橋となります。米山学友会は世界の奉仕活動のニーズを教えてくださいますので極めて大切な学友会です。

ロータリー平和センターとフェローは国際紛争調停、平和維持活動に参加することを希望する学生を対象に支援する事業です。RIでは世界7大学を指定しています。日本ではICUのみです。1年度100人のフェローが生まれロータリーはその支援をしています。

危機委員会は地区のクラブの危機事案に対応します。RIではハラスメントはいかなる場合も禁止です。例会、セミナー、プライベートの時間でも気をつけてください。

国際ロータリー日本青少年交換多地区機構(RIJYEM)のお知らせをします。交換学生の送り出し、受け入れを安全または保証するもので、渡航情報なども案内してくれます。この機構の承認を受けなければ事業に参加できません。姉妹クラブの交換事業も承認が必要です。

第2670地区は4つの県をガバナー事務所が回ります。その合理化のために委員会の固定化を図っております。香川事務所はロータリー財団委員会と国際奉仕委員会を、徳島事務所は米山記念奨学委員会と青少年奉仕委員会を固定しています。来期のガバナー事務所は四万十市中村です。

ガバナー、ガバナー補佐はいつもクラブ会長のサポートに回るべきと考えます。クラブ会長の計画立案、遂行をみて、結果の判断まで寄り添い持続可能な良いクラブを作りましょう。コロナ感染の影響を受けたクラブの再生のためには多少の変化が必要ですが、私たちは「世界を変える行動人」です。

■数値目標

- 会員増強 純増2名
- ロータリー財団 年次寄附150ドル
- ポリオ寄附30ドル
- 米山奨学会 10,000円

2021-2022年度 第2670地区ガバナー プロフィール

氏名 東 邦彦 (ひがし くにひこ)
生年月日 1943年1月30日生
配偶者氏名 東 典子 (ひがし のりこ)
所属RC 中村ロータリークラブ
職業分類 衣料販売
自宅住所 高知県宿毛市平田町戸内 4821 番地
勤務先 有限会社ホリディ 取締役
最終学歴 1965年3月 慶應義塾大学文学部卒業

職歴 1965年4月 株式会社 川崎こみや百貨店 入社
1978年 同社 退職
1979年 帰郷 カジュアルスポーツウェア 有限会社 ホリディ 設立

ロータリー歴 1983年5月 中村ロータリークラブ入会
1988-1989年度 中村ロータリークラブ 幹事
1997-1998年度 中村ロータリークラブ 会長
1999-2000年度 第2670地区 ロータリー財団委員
2000-2001年度 第2670地区 ロータリー財団委員
2001-2002年度 第2670地区 社会奉仕委員
2003-2004年度 第2670地区 職業奉仕委員長
2004-2005年度 第2670地区 ロータリー財団委員
2012-2013年度 高知第II分区ガバナー補佐
第2670地区 増強委員長

受賞歴 米山功労者
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (4回)



クラブ運営について

2021-2022年度
地区研修リーダー 柳澤 光秋
(高知東 RC)

高知県の人口は、愛媛県の人口134万人に比べ約半分の70万人で、その内の33万人が高知市の人口です。東ガバナーエレクトが所属する中村 RC (会員数54人) は、四国西南端の幡多地区の四万十市(旧中村市)で、高知市から120キロ離れており、高知市以外でのガバナー輩出は初めてのことです。ハンディーがあるのに引き受けた東ガバナーエレクトの心意気、支える幡多地区の中村 RC、四万十 RC (会員数14人)、宿毛 RC (会員数28人) に暖かい御援助と御協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、不行き届き至らない点が多々あると思いますが、ロータリー寛容の精神でどうか御許し下さいませ。

第2670地区は、愛媛・徳島・香川・高知の4県が順に輪番制でガバナーを選出しております。東年度の次は愛媛県の番ですが、ガバナーの擁立ができず、香川県が選出することになり、高松北 RC の八田光さんに決定しました。2023～24年度は徳島県が選出し、5月に開催予定の諮問委員会で候補者が決定します。

ちなみに、2022～23年度の RI 会長はカナダの女性でジェニファー E ジョーンズさん。115年のロータリー歴史上初めての女性会長で「多様性 公平さ 開放性」を訴え、一業種一会員制を完全否定しています。

昨年12月末、2018年7月に発足したロータ

リー未来形成委員会からロータリー未来形成 (Shaping Rotary's Future: SRF) について発表があり、大問題になっています。2018～19年度 Barry Rassin RI 会長が委員長で、次代のロータリーの在り方(ガバナンス; 組織統括) について検討し、昨年11月19日の RI 理事会で検討内容と提案事項が報告され、以後、極秘扱いではなくなり、さらに検討の上、2022年の規定審議会に「制定案」として提出される予定です。現在の地区制度やガバナー制度が十分に機能していないという判断で、地区、ガバナー制度の廃止です。

その内容は、RI 理事会とロータリー財団 (TRF) 管理委員会は従来通りで、Global Volunteer Cadre を設置する。Global Volunteer Cadre の下の Regional level に Regional Council を置く。世界を言語や文化で 20～40 の Region にわけ、日本は 1 Region で、日本の Council は 1 人だけ。Council は Region 内のクラブの選挙で選ばれて任期は 3 年。Regional Council の下の Sectional level に Sectional Leader を置く。Section は世界で 1500～1600。原案では、日本は 102 Section。Leader は Section 内のクラブの選挙で選ばれて任期は 2 年で、25～30 のロータリークラブ・ローターアクトクラブを支援する。

これによると第2670地区は2～3に分割にされると思われる。2023年度からパイロット地域で開始、6年間実施後、2030年7月から導入の段取りです。

ポール・ハリスの語録に「ロータリーがその適正な運命を理解するとしたら、ロータリーは必ず進歩しなければなりません。時には革命が起こる必要があります。」とあり、ロータリーはその都度、変化を続けております。

世界全地区が採用しなくてはならないR Iの地区組織の管理制度であるD L Pの導入、各クラブの裁量に任せられた制度のC L Pの導入。2016

年規定審議会では、「潮目が変わった」という制度変更。今回のS R Fは非常に問題ある内容で、日本では反対意見が続出していますが、容認する意見もでています。多分、R Iは決定すると思いますが、実行されるには時間がかかります。まずは自分のクラブの在り方が重要です。それぞれのクラブの伝統を守り、基盤を作り上げていくことが必要となります。

アーサー・F・シェルドンは「真のロータリアンは楽観的奉仕の道を選ぶことにより、明日は今日よりはるかに良くなるに違いない。」とのべています。皆様の明るい未来を期待しています。



ガバナーエレクト挨拶

2021-2022年度
ガバナーエレクト 八田 光
(高松北 RC)

国際ロータリー第2670地区ロータリアンの皆様におかれましては、長期にわたるコロナ禍の中での活動、大変お疲れ様です。そんな大変な状況下において第2670地区でリーダーシップをとっていただける東 邦彦ガバナーそして運営を主体的に担っていただける大塚和助地区代表幹事および中村ロータリークラブの皆様ご苦労様です。

最近、世界中で様々な自然災害、人為災害、特殊災害などが形を変えながら頻繁に人々を襲っています。そして、その2次災害も影響の大きなものがあります。

我々がそうしたものに立ち向かう準備をしたり対応するために大きな影響力を発揮するためには、やはりロータリーの中核的価値観をしっかりと共有して手をつないで行動することが大切だと思います。

「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」、この価値観を第2670地区ロータリアンの皆様が今より一層強く持っていただくことにより色々な活動が活発に進みます。

2021-2022年度国際ロータリー会長シェカール・メータ氏(インド) はテーマを「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives) として、皆さんご自身が模範を示しましょうと言っています。奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。また、年度の焦点として「女子のエンパワメント」を取り上げています。

シェカール・メータ R I 会長のメッセージの中には「みんな一人をクラブに入れよう」(each one bring one) という会員増強計画もあります。東ガバナーはそれらを含め真摯に達成しよう、「成長しようロータリアン」(Grow Rotarian) をテーマに掲げました。

東ガバナーは、serviceとは本来の意味として、社会を住みやすくすることの総称、「思いやり」だと捉えられております。

そこにあるのは、やはり「超我の奉仕」です。

Do More Grow More !



ガバナーノミニー挨拶

2021-2022年度
ガバナーノミニー 吉岡 宏美
(徳島 RC)

第2670地区ガバナーノミニーのご指名をいただきました徳島ロータリークラブの吉岡 宏美でございます。地区会員の皆さまにご挨拶を申し上げます。

1905年2月ロータリーが創立されて以来、今年で116年になりました。また、日本においては1920年10月、最初のクラブ(東京 RC) が創立以来100年を過ぎました。世界が発展する中であって、ロータリークラブもまた、社会、経済環境の変化の中で、多くのロータリアンの議論、積極的な関わり、ご努力により変化に対応しつつ成長、発展して参りました。

今、日本でのロータリークラブの歴史を振り返るとともに、これからの変化を予測しながら将来のあるべき方向を考えることも大切なことではないかと思っています。徳島ロータリークラブでは、まず、過去を理解する機会として、パストガバナーからの卓話をお願いしようと思っています。

ロータリークラブの考え方、活動の歴史の原点を理解すること、そして、現在、これからの社会環境変化を踏まえた取り組みのあり方を議論し、実行していかなければならないと思っています。

新しい重点分野として「環境の保全」が分離し追加されました。今、世界でSDGs/ESGへの取り組みが求められ、脱炭素社会の実現に向けた取り組みが進められています。ロータリークラブにおいても、これまで取り組んできた環境保全に、より積極的に取り組むことが大切です。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大が経済、社会に大きな影響を与えています。コロナ禍にあって、企業の活動や個人の生活においても、新たな仕組みづくりや生活習慣づくりが求められています。ロータリークラブの活動においても、さまざまな制約があり、計画的な活動が実施できていない状況にあります。例会等における新たな開催様式や、各種活動において工夫した取り組みを考え、実行していかなければなりません。そして、そうした取り組みにより、ロータリークラブの活性化を実現することが大切です。

さまざまな課題がありますが、皆さまのご支援、ご協力をいただきながら役目を果たして参りたいと思います。よろしくお願い致します。



ガバナー事務所からのお知らせ

2021-2022年度
地区代表幹事 **大塚 和助**
(中村 RC)

ロータリアンの皆様には、地区運営に際しご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、ご承知のとおり新型コロナウイルス感染拡大が収まることなく猛威を振るっております。従いまして、2021-2022年度地区研修・協議会は、昨年度に続き通常開催ができなくなりました。新年度の大事なスタートに際し、地区を運営する立場としては誠に残念であり、また皆様には申し訳ない限りではございますが、現況をご理解いただきお許し願いたいと存じます。

現在、コロナ禍によりまだまだ今後の予定が立てにくい状況下で、まずは第一にロータリアンの安全を最優先とし、地域内での各クラブの活動をお願いいたします。

RI事務総長からも「できる限りバーチャル(オンライン)での会合をするように」という強い要請が届いていますことをご報告申し上げます。

2021-2022年度 RI会長のシェカール・メータ氏のテーマおよびメッセージと、第2670地区東邦彦ガバナーの運営方針、そして地区委員長の活動方針等を本冊子に掲載しておりますので、これに基づき活動計画を立てていただきますようお願いいたします。

各クラブは例年どおり、会員数および出席率の報告をお願いします。月間の会員数および例会出席率報告において、出席率は用紙の右にある、月間提出用の項目に捺印し、以前と同じ毎月15日までにご提出ください。その月以外のメイクアップを訂正する例会は別途に「例会メイクアップ訂正」の項目に捺印して、以前に提出した月間提出用の用紙の数値を訂正して、ガバナー事務所までご提出ください。ガバナー月信には毎月提出の出席率のみを掲載いたします。

なお、メーキャップはあくまで「同じ年度」に行う必要がありますので、従来有効であった例会日前後2週間のメーキャップも、2021年7月1日から2022年6月30日までの同じ年度以外は、年度の前、年度の後も無効になりますのでご注意ください。

2021年7月からガバナー公式訪問が始まりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止により、各クラブの通常例会が休会となることが想定されます。万一その事態になった場合でも、この冊子に記載されているガバナーの公式訪問予定日を変更することは不可能ですので、クラブと打ち合わせの上、会長・幹事その他とガバナーおよびガバナー補佐、随行者の数名による面談訪問形式となることもありますのでよろしくお願い致します。

ロータリー賞の詳細が発表されました。各クラブで目標を定めてお申し込みください。

地区大会は2021年10月22日(金) 記念ゴルフ大会(Kochi黒潮 CC)、23日(土) 大会本会議(高知県民文化ホール) の予定です。規模、内容等につきましては決まり次第お知らせいたします。

会長・幹事・会計の皆さんからのクラブの運営等に関するご質問、ご相談がございましたら、2021-2022年度ガバナー事務所ホームページにてお問い合わせください。また、標準ロータリークラブ定款、推奨ロータリークラブ細則、その他各クラブの運営等に関するご質問、ご相談は、事務手続き一覧に記載されている国際ロータリー日本事務局クラブ支援室でも、アドバイスや明確な回答を頂けますので、ぜひ一度お問い合わせされることをお勧めいたします。

■国際ロータリー日本事務局

クラブ・地区支援室

〒108-0073

東京都港区三田 1 丁目 4-28 三田国際ビル 24F

業務時間 /9: 30~17: 30(土日祝日は休み)

(12: 30~13: 30昼休)

TEL 03-5439-5800 Fax 03-5439-0405

E-mail: rijapan@rotary.org

以上、ロータリアンの皆様には現状況におきまして、次年度の地区運営に際し急遽変更ならびに中止となる場合もありますことをご理解いただき、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■国際ロータリー第2670地区

2021-2022年度 ガバナー事務所

〒787-0029

高知県四万十市中村小姓町46 中村商工会館2F

TEL 0880-31-0171 FAX 0880-31-0172

業務時間 /9: 30~17: 30(土日祝日は休み)

(12: 00~13: 00昼休)

E-mail: nakamura@rid2670gov.info

<http://rid2670gov.info/>



地区会計長からのお知らせ

2021-2022年度
地区会計長 **松田 基**
(中村 RC)

地区の会計長を仰せつかりました中村ロータリークラブの松田基です。

まず最初に、コロナ禍により地区の事業活動(長期・短期交換プログラム等)の中止をはじめ、その他様々な活動において影響が生じ、イレギュラーな年度になりますことをご理解願います。

1) 2021-2022年度の一般会計収支予算は、別表(40ページ)となっておりますのでご参照願います。

2) PETS(会長エレクト研修セミナー)は規模縮小で開催しましたが、地区研修・協議会は中止といたしました。従いまして、登録料は徴収いたしません。昨年度の剰余金が特別会計から一般会計に繰入されておりますので、当年度に限り、一般会計からの支出とさせていただきます。(※決算見込み・80ページに記載)

3) 短期交換特別会計分担金は、早々に事業中止となり、当年度は徴収いたしません。

近年、地区内の会員数が減少傾向となっております。従いまして、次年度に繰越す剰余金が少しづつ減っており、今後の課題となっております。

当然、次年度東ガバナーも会員増強は重点目標として掲げておりますが、昨年よりのコロナ禍により、新しい生活様式が叫ばれる中、時代は目まぐるしく変化することが予測されます。

ロータリー活動におきましても各委員会事業の歴史と伝統は継承しつつも、来るべき時代に見合った事業並びに予算化を考えることも必要かと存じます。当年度におきまして、今後の第2670地区の未来を考えるきっかけの一年となりますことを願っています。

以上、新型コロナウイルス感染拡大が一日も早く収束し、平穏な日常生活が訪れますことを願っておりますが、皆様には地区運営に関してのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規に RI に加盟していることが条件となります。ロータリー賞の受賞資格にある「正規に RI に加盟している」とは、RI からのクラブ請求書の金額を遅延なく（国際ロータリーから 60 日未納の催促通知が発行されることなく）全額支払ったクラブを意味します。クラブが RI 請求額を遅延なく支払っているかどうかは、My ROTARY の「クラブの運営」「クラブの財務」の下にあるクラブの未納金残高（毎日更新）レポートでご確認ください（このレポートで未納金残高が 0 ドルとなっていること）。RI からの請求額は、1 月中旬または 7 月中旬に請求書が関可能となり次第、すぐにお支払いください。

ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指すにあたり、ロータリークラブ・セントラルから 25 の目標のうち少なくとも 13 の目標を選ぶことができるようになります。このよ

うな柔軟性が適用されたことにより、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことが可能となります。

さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります：

- ・ロータリークラブ・セントラルを開く
- ・25 の目標に目を通す
- ・その中から 13 の目標（または全目標の 51% 以上）を選ぶ
- ・選んだ目標を達成する
- ・ロータリークラブ・セントラルで達成を報告する

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「目標設定・確認センター」をクリックし、年度を選び、「すべて」をクリックしてください。

■2021-2022年度「ロータリー賞」の目標

目 標	目 標 の 詳 細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム/活動に参加する会員の数
地区大会への出席	地区大会に出席する会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数

目 標	目 標 の 詳 細
地区研修への参加	地区で行われる研修/セミナー/協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に10,000ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA 参加者	本ロータリー年度にクラブが支援する RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画(長期計画)があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料(ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料)使用した回数

参考資料

2021-2022年度 年間行事 地区諸会合(予定)

開催予定日	行事予定	開催地
2021年		
3月7日(日)	会長エレクト研修セミナー(PETS) 地区チーム研修セミナー(DTTS)/中止	新ロイヤルホテル四万十
3月27日(土)	第2670地区青少年奉仕委員会研修セミナー	新ロイヤルホテル四万十
3月28日(日)	地区研修・協議会/中止	高知県民文化ホール
4月11日(日)	2021-22年度ロータリー財団補助金委員会	ルポール讃岐
4月17日(土)	2021学年度米山記念奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修会	ホテル日航高知旭ロイヤル
6月5日(土)	インターアクトクラブ会長・幹事研修会	四国中央市/土居文化会館
6月6日(日)	第2670地区第34回ロータリーアクト地区大会	徳島県神山町農村環境改善センター
	長期・短期交換受入派遣/中止	
7月～12月	ガバナー公式訪問	74ロータリークラブ
7月	ロータリーアクト第1回会長幹事会	
7月10日(土)	第1回米山委員会	愛媛県紙産業技術センター
7月25日(日)	インターアクト年次大会	土佐市/明德義塾中学高等学校
7月～8月	卓話研修会(各分区毎)	
9月	米山協議会(各分区毎)	
9月18日(土)	第1回RYLA地区委員会	
9月18日(土)	地区会員増強セミナー/クラブ研修リーダーセミナー	新ロイヤルホテル四万十
10月10日(日)	第2回RYLA地区委員会	
10月22日(金)	地区大会記念ゴルフ大会	黒潮カントリークラブ
	地区大会R I 会長代理歓迎晩餐会	三翠園
10月23日(土)	地区大会本会議	高知県民文化ホール
11月5日(金)～7日(日)	第2670地区ガバナー杯野球大会	四万十市・黒潮町
12月5日(日)	ロータリー財団補助金管理セミナー【徳島・香川】	徳島グランヴィリオホテル
12月11日(土)	ロータリー財団補助金管理セミナー【愛媛・高知】	リーガロイヤルホテル新居浜
12月11日(土)	第2回米山委員会	愛媛県紙産業技術センター
2022年		
1月	米山奨学生面接選考	各分区毎
1月～3月	インターシティミーティング	各県・分区毎
2月12日(土)	香川第I・第II分区IM(ホストクラブ:高松南RC)	レグザムホール
2月19日(土)	高知第I・第II分区IM(ホストクラブ:宿毛RC)	秋沢ホテル
3月5日(土)	愛媛第I分区IM(ホストクラブ:西条RC)	未定
2月～3月	2021学年度米山記念奨学生終了式・歓送会	各分区毎
4月23日(土)～24日(日)	RYLAカウンセラーミーティング	香川県小豆島
5月19日(木)～22日(日)	第42回RYLAセミナー(青少年指導者養成プログラム)	香川県小豆島

2022-2023年度 年間行事 地区諸会合(予定)

開催予定日	行事予定	開催地
2022年		
3月13日(日)	2022-2023年度PETS・DTTS	高松市内
3月26日(土)	2022-2023年度地区研修・協議会	高松市内
6月	インターアクト会長幹事研修会	
	ロータリーアクト7地区交流会	
	ロータリーアクト地区大会	

2021年4月現在

2021-2022年度 年間行事 ゾーン諸会合(予定)

日程	行事予定	開催地
2021年		
6月12日(土)～16日(水)	RI国際大会	バーチャル形式(台北)
6月27日(日)～28日(月)	クラブ活性化セミナー2021	バーチャル形式
7月1日(木)	第1回ガバナー会	グランドプリンスホテル高輪 (東京)
	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	
7月4日(日)	全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議	未定(対面+ZOOM)
9月13日(月)～14日(火)	GETS(ガバナーエレクト研修セミナー)	グランドプリンスホテル高輪
9月15日(水)	DTLS (2022-23年度地区研修リーダーセミナー)	グランドプリンスホテル新高輪
12月5日(日)	ロータリー財団地域セミナー	東京都内
12月6日(月)	第2回GETS(ガバナーエレクト研修セミナー)	東京都内
	GNTS(ガバナーノミニエ研修セミナー)	
	審議会代表議員研修	
	メジャードナー午餐会	ホテルオークラ東京
	第2回ガバナー会議	
	RI会長歓迎晩餐会	
12月7日(火)～8日(水)	第50回ロータリー研究会	メルパルク東京ホール
12月12日(日)	全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議	未定(対面+ZOOM)
2022年		
1月16日(日)～20日(木)	国際協議会(ガバナーエレクト研修)	オランダ(米国・フロリダ)
4月21日(木)～22日(金)	クラブ活性化セミナー2022	未定
6月4日(土)～8日(水)	RI国際大会	ヒューストン(米国・テキサス)

2021年4月現在

2021-2022年度 地区内RC周年行事(予定)

日程	分区	クラブ	周年	開催場所
2021年				
9月4日(土)	高知第Ⅱ	高知西	50	三翠園
9月11日(土)	高知第Ⅱ	四万十	50	中村プリンスホテル
2022年				
3月3日(木)	愛媛第Ⅱ	松山南	50	ANAクラウンプラザホテル松山
3月5日(土)	愛媛第Ⅰ	西条	60	未定
5月21日(土)	愛媛第Ⅱ	道後	30	松山市内

2021年4月現在

提出期限 翌月15日

2021-2022年度
会員数及び例会出席率報告書

※添付資料

どちらかを選択してください

2021年 月 度 ローターリークラブ

月間提出用	
メークアップ訂正用	

会員数	7月1日現在会員数	名	(男性)	名	女性	名	(名)
	前月末会員数	名	(男性)	名	女性	名	(名)
	当月入会者数	名	(男性)	名	女性	名	(名)
	当月入会者数の内1日入会の数	名	(男性)	名	女性	名	(名)
	当月退会者数	名	(男性)	名	女性	名	(名)
	当月末会員数	名	(男性)	名	女性	名	(名)

※末日退会者含む

<p>月度入会者・退会者</p> <p>有 ・ 無</p> <p>入会者または退会者とお答えいただいたクラブは、お手帳をおかけいたしますが、別sheet「入会者・退会者連絡用紙」にご記入の上、ガバナー事務所へ併せてお知らせください。また、お申し込み申し上げます。</p>

出席率	A 全正会員数	第1例会	第2例会	第3例会	第4例会	第5例会	当月合計
	B 当日欠席した免除適用(※)を受けた正会員数	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
	C 当日例会に出席した正会員数						
	D メークアップによる出席者数(免除適用者以外)						
	E メークアップによる出席者数(免除適用者)						
	出席者数 (C+D+E)						
必要出席者数 (A-B+E)							
出席率 (%)							

※免除適用とは…2019年手続要覧クラブ定款第10条(出席)第5節(出席規定の免除)第6節(出席の記録)より抜粋

- (a) 理事会の承認する条件と事情による欠席の場合。
出席規定の適用の免除は、最長12ヶ月間までとする。ただし、健康上の理由から12ヶ月を超えて欠席となる場合は、理事会が改めて、当初の12ヶ月の後に、さらに一定期間の欠席を認める事ができる。
- (b) 一つまたは複数のローターリーの合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもってクラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。

記入例：月間提出用

提出期限 翌月15日

2021-2022年度
会員数及び例会出席率報告書

2021年 12月度 ○○ ロータークラブ

どちらかを選択してください

月間提出用	<input type="radio"/>
メイクアップ訂正用	<input type="radio"/>

会員数	7月1日現在会員数	名 (男性 名 女性 名)
	前月末会員数	名 (男性 名 女性 名)
	当月入会者数	名 (男性 名 女性 名)
	当月入会者数の内1日入会の数	名 (男性 名 女性 名)
	当月退会者数	名 (男性 名 女性 名)
	当月末会員数	0 名 (男性 0 名 女性 0 名)

月度入会者・退会者
有 ・ 無

入会者または退会者とお答えいただいたクラブは、お手紙をおかけいたしますが、別sheet「入会者・退会者連絡用紙」にご記入の上、ガバナー事務所へ併せてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

※末日退会者含む

		第1例会 12月3日	第2例会 12月10日	第3例会 12月17日	第4例会 12月24日	第5例会 月 日	当月合計
出席率	A 全正会員数	50	50	50	50		200
	B 当日欠席した免除適用(※)を受けた正会員数	1	2	2	5		10
	C 当日例会に出席した正会員数	37	34	38	32		141
	D メイクアップによる出席者数(免除適用者以外)	12	10	9	13		44
	E メイクアップによる出席者数(免除適用者)	0	0	0	1		1
	出席者数 (C+D+E)	49	44	47	46		186
	必要出席者数 (A-B+E)	49	48	48	46		191
	出席率 (%)	100.00%	91.67%	97.92%	100.00%		97.38%

※免除適用とは…2019年手続要覧クラブ定款第10条(出席)第5節(出席規定の免除)第6節(出席の記録)より抜粋

- (a) 理事会の承認する条件と事情による欠席の場合。
出席規定の適用の免除は、最長12ヶ月間までとする。ただし、健康上の理由から12ヶ月を超えて欠席となる場合は、理事会が改めて、当初の12ヶ月の後に、さらに一定期間の欠席を認める事ができる。
- (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもってクラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。

【提出先】2021-2022年度ガバナー事務所 E-mail : nakamura@rid2670gov.info FAX : 0880-31-0172

記入例：メイクアップ訂正用

提出期限 翌月15日

2021-2022年度
会員数及び例会出席率報告書

2021年 12月度 ○○ ロータークラブ

記入例 メイクアップによる出席者数(免除適用者以外)
10名だったところ、4名がメイクアップした場合

どちらかを選択してください

月間提出用	<input type="radio"/>
メイクアップ訂正用	<input checked="" type="radio"/>

会員数	7月1日現在会員数	名 (男性 名 女性 名)
	前月末会員数	名 (男性 名 女性 名)
	当月入会者数	名 (男性 名 女性 名)
	当月入会者数の内1日入会の数	名 (男性 名 女性 名)
	当月退会者数	名 (男性 名 女性 名)
	当月末会員数	0 名 (男性 0 名 女性 0 名)

月度入会者・退会者
有 ・ 無

入会者または退会者とお答えいただいたクラブは、お手紙をおかけいたしますが、別sheet「入会者・退会者連絡用紙」にご記入の上、ガバナー事務所へ併せてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

※末日退会者含む

		第1例会 12月3日	第2例会 12月10日	第3例会 12月17日	第4例会 12月24日	第5例会 月 日	当月合計
出席率	A 全正会員数	50	50	50	50		200
	B 当日欠席した免除適用(※)を受けた正会員数	1	2	2	5		10
	C 当日例会に出席した正会員数	37	34	38	32		141
	D メイクアップによる出席者数(免除適用者以外)	12	14	9	13		48
	E メイクアップによる出席者数(免除適用者)	1	2	2	1		6
	出席者数 (C+D+E)	50	50	49	52		201
	必要出席者数 (A-B+E)	50	50	50	52		196
	出席率 (%)	100.00%	100.00%	98.00%	100.00%		102.55%

※免除適用とは…2019年手続要覧クラブ定款第10条(出席)第5節(出席規定の免除)第6節(出席の記録)より抜粋

- (a) 理事会の承認する条件と事情による欠席の場合。
出席規定の適用の免除は、最長12ヶ月間までとする。ただし、健康上の理由から12ヶ月を超えて欠席となる場合は、理事会が改めて、当初の12ヶ月の後に、さらに一定期間の欠席を認める事ができる。
- (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもってクラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。

【提出先】2021-2022年度ガバナー事務所 E-mail : nakamura@rid2670gov.info FAX : 0880-31-0172

2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区 事務手続一覧

期 日	事 項	適 用	提 出 先
2021年7月10日	クラブ計画書		【4部】 ガバナー事務所 〒787-0029 高知県四万十市中村小姓町46 中村商工会館2F TEL : 0880-31-0171 FAX : 0880-31-0172
毎月最終例会後 15日以内	クラブ例会出席率報告書	地区指定書式	【FAX】 ガバナー事務所 FAX : 0880-31-0172 E-mail : nakamura@rid2670gov.info
その都度	理事会への建議案 Memorials to the RI Board RI	クラブ会長の署名入りの書簡形式 建議案及びその提出の目的を説明した書簡	(正) RI 会長、理事会、事務総長 (写) ガバナー事務所
2021年9月23日 開催1ヶ月前	地区大会の信任状(証明書) RI細則 16条16.050.1選挙人 「地区内の各クラブは少なくとも1名の選挙人を選び、それを証明し、そしてこれを地区の年次地区大会及び地区立法案検討会に送るものとする。会員数が25名を超えるクラブは25名ごとに1名、またはその端数が13名以上の場合、更に1名の割合で選挙人を送る権利を有する」 (抜粋)	地区指定書式 (会長・幹事のサインが必要) 地区大会当日、信任状委員会開催	(正) ガバナー事務所
その都度すみやかに " " (2021年7月1日) (2022年1月1日)	新会員 会員情報の変更 " " 更新会員リスト(半期報告時の請求に正確を期するため) 更新会員リスト(半期報告時の請求に正確を期するため)	国際ロータリー指定の会員情報書式または RIWEB会員 My Rotary	RIWEB会員 My Rotary 下記にもお送り下さい (正) 国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室 ※My Rotaryにてご報告いただいた場合、書式の提出は不要です (写) ガバナー事務所 (写) クラブに保管
その都度すみやかに " " " " " " " "	事務所の変更 ◇ 例会場の変更 ◇ 例会日の変更 ◇ 会長の期中での変更 ◇ 幹事の期中での変更 ◇ インターアクトの結成 ◇ ローターアクトの結成 ◇ 職業分類及びその変更	任意の書式 " " RIWEB会員 My Rotary RIWEB会員 My Rotary 国際ロータリー指定の認定申請書式 国際ロータリー指定の組織体一覧表 RIの会員情報にないので報告の必要はありません クラブで管理してください	(写) クラブに保管 (写) ロータリーの友事務所(◇のみ) 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 TEL : 03-3436-6651 URL : www.rotary-no-tomo.jp
2022年2月1日締切 (予定)	次年度報告 次期会長・次期幹事・次期会計・次期会員増強 次期ロータリー財団委員長 次期理事・次期役員・及び事務局の報告	My Rotary (旧会員アクセス) について 「ラーニング&参考資料」→「主題別」→ 「Rotary.org」の順にクリックし 「ROTARY.ORG利用にあたってのリソース」の説明をご参照下さい。	RIWEB My Rotary URL http://www.rotary.org ※前年度RIに登録された2021-2022年度会長・幹事・事務局がアクセス権を有しています(2021年7月1日以降)。その際それぞれその個人のメールアドレスが登録されている必要があります。 【不明な場合は下記まで】 国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室 〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24F TEL 03-5439-5800 FAX 03-5439-0405
2022年5月頃	インターアクト次年度報告	ホームページ (rotary.org) から情報を報告 (Myrotary→ラーニング&参考資料→インターアクト→クラブと会員の情報を入力・変更)	国際ロータリーのウェブサイト
2022年5月頃	ローターアクト次年度報告	ホームページ (rotary.org) から情報を報告 (Myrotary→ラーニング&参考資料→ローターアクト→クラブと会員の情報を入力・変更)	国際ロータリーのウェブサイト 下記にもお送り下さい (写) 国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室 (写) ガバナー事務所
2022年5月4日 開催1ヶ月前	国際大会の信任状 RI定款第9条国際大会 第3節(a) 代表 (抜粋) すべての国際大会において、各クラブは少なくとも1名の代議員をもってクラブを代表させる権利を持つ。会員数が50名を超えるクラブは、50名ごとに1名、端数が26名以上の場合、更に1名の追加代議員をもってだお評させる権利を持つ (以下省略)	国際ロータリー指定書式 (会長・幹事のサインが必要) 国際大会に出席するクラブの代議員に渡すか、クラブから国際大会に出席する会員がいない場合、指名代理人に渡すか、代理人として出席するガバナーエレクト事務所へ提出してください。	(正) ガバナー事務所<香川> 開設次第お知らせします

(写)の報告はFAXでも結構です

2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区 送金手続一覧

7月1日、1月1日現在クラブ請求書に基づく会員数及び一人当たりの分担金	上半期 7月1日付	下半期 1月1日付	期日・送金先	報告先
RI人頭分担当 (クラブ請求書の正会員の総数先払) 請求書の請求金額通りにお支払ください。 RI規定審議会追加年会費 (クラブ請求書の正会員の総数先払) 請求書の請求金額通りにお支払ください。	\$35.00	\$35.00	クラブ請求書到着後すみやかに ◎三井住友銀行 新宿通支店(普)6733244 口座名：国際ロータリー日本事務局	請求書の請求金額通りにお支払の場合は、国際ロータリー取敢分・送金明細書の送付は不要。ただし資料代等と一緒に振り込む場合はファックスにて送付 国際ロータリー日本事務局 経理室 FAX 03-5439-0405
RI比例人頭分担当(途中入会者) 請求書の請求金額通りにお支払ください。	\$35.00/6×在籍月数 (1日入会の方は入会月より、2日以降入会の方は翌月より) ※割り切れない場合は小数点以下3位目を四捨五入			
ザ・ロータリアン誌購読料 ※希望者のみ半期定期購読	\$12.00	\$12.00	同上	同上
ロータリー財団寄付 年次基金 ポリオプラス 恒久基金	クラブ・地区：目標額 個人・法人：随時、随意的額		随時 ◎三井住友銀行 赤羽支店(普)3978101 口座名：公益財団法人ロータリー日本財団 (Aの個人・法人寄付は税制上優遇措置対象)	〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24F 国際ロータリー日本事務局 財団室 TEL 03-5439-5805 FAX 03-5439-0405 E-mail: rijpntrf@rotary.org (送金明細書あり)
ロータリーの友購読料 (半期報告の正会員の総数先払)	1,320円	1,320円	半期報告後すみやかに ◎三井住友銀行 浜松町支店(普)7450015 口座名：一般社団法人ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 (社)ロータリーの友事務所 TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956 URL http://www.rotary.org
ロータリーの友購読料中途入会者 (新会員は入会時に購読月数×分送金) ※在庫があれば希望者に選んで販売可	220円×月数* (増税に伴う変更の可能性あります)	220円×月数*		
ロータリー米山記念奨学会 普通寄付	3,000円+α	3,000円+α	半期ごとの依頼がありますのですみやかに ◎三井住友銀行 京橋支店(普)0920373 口座名：公益財団法人ロータリー米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 (公財)ロータリー米山記念奨学会 TEL 03-3434-8681 FAX 03-3578-8281 (送金明細書あり)
特別寄付	随時、随意的額			
RI出版物の申し込み	2020年3月末でTEL、FAX、メールでの販売が終了となり、4月以降、MYROTARYからダウンロードして注文するようになりました。 なお、電子版および、ラーニングセンターへ移行となる資料があります。現段階で未定のものあり。			国際ロータリー日本事務局 業務推進・資料室 TEL 03-5439-5802 E-mail: rijjnpi@rotary.org
地区資金分担金 (7月1日、1月1日現在の会員数)	4,500円	4,500円	7月31日、1月31日 ◎種多信用金庫 本店営業部 (普)0461603 口座名：国際ロータリー第2670地区 地区会計長 松田基 (コクサイロータリー ダイニロクナナルチク チクカイケイチョウ マツダモトイ)	〒787-0029 高知県四万十市中村小姓町46 中村商工会館2F 国際ロータリー第2670地区 2021-2022年度ガバナー事務所 TEL0880-31-0171 FAX0880-31-0172 E-mail: nakamura@rid2670gov.info (送金明細書あり)
(中途入会者の月割分担金)	750円×月数*	750円×月数*		
ガバナー月信購読料 (会長・幹事は無料、中途入会者はその半期無料)	1,000円	1,000円		
ガバナー連絡会運営協力金 (7月1日、1月1日現在の会員数)	100円	100円		
ロータリー文庫運営協力金 (7月1日、1月1日現在の会員数)	150円	150円		
平和奨学支援協力金 (1月1日現在の会員数)	-	15円		
地区大会分担金 (7月1日現在の会員数)	6,000円	-		
短期交換特別会計分担金 (7月1日現在の会員数)	今年度はいただきません	-		
青少年奉仕特別会計分担金 (7月1日現在の会員数)	3,000円	-		
危機対策委員会分担金(RIJYEC維持協力金) (7月1日、1月1日現在の会員数)	100円	100円		
緊急災害援助準備金分担金 (7月1日現在の会員数)	1,000円	-		
規定審議会準備金分担金 (7月1日、1月1日現在の会員数)	今年度はいただきません	-		
※事務効率化の為、下記登録料も一緒に送金下さい 「地区会員増強セミナー」 「クラブ研修リーダー育成セミナー」登録料	10,000円	-		
「各分区分米山協議会」登録料	20,000円	-		
「ロータリー財団補助金管理セミナー」登録料	10,000円	-		

会員数：クラブ役員は、請求額を正確な会員数に基づくものとするため、会員の入退会を随時、RIへご報告ください。ロータリーウェブサイト(www.rotary.org)のMyROTARYにログイン後、運営するクラブの運営データ
の追加・変更・削除で会員情報の更新して下さい。会員情報への変更の報告は(会員の入退会日、および変更日より)30日以内に行うことが必須となります。(ただし、遅くとも1月1日と7月1日までに報告してください
)。12月1日から1月1日まで、または6月1日から7月1日までに入会または退会した会員がいる場合、その半期の期日(1月1日と7月1日)までに必ずご報告ください。

RIの分担金は各クラブより報告頂いた会員数に基づいて、7月1日、1月1日現在の正会員数の人頭分担当が請求されます。新会員については、入会した月数に基づいて比例人頭分担当が請求されます。一方、地区の半期分担金
は7月1日、1月1日入会の新会員はその半期の分担金の人数に含まれますが、7月2日から12月31日、1月2日から6月30日入会の中途入会者は地区資金分担金以外のその半期の分担金は無料、地区資金のみ上記の
月数*による月
割分担金扱いとなりますので、送金明細書に記入しFAXの上、両方すみやかに送金ください。

2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所 御中

2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区分担金等送金明細書（上半期）

クラブ名 _____ ロータリークラブ

幹事名 _____

銀行名 _____

支店名 _____ から _____ 月 _____ 日に振り込みました

振込期日：2021年7月31日

項目	明細	金額
地区資金	半期 4,500円 × _____ 人	円
ガバナー月信購読料 (会長幹事は無料、中途入会者はその半期は無料)	半期 1,000円 × _____ 人	円
ガバナー連絡会運営協力金	半期 100円 × _____ 人	円
ロータリー文庫運営協力金	半期 150円 × _____ 人	円
平和奨学支援協力金	下半期のみいただきます	
地区大会分担金	年 6,000円 × _____ 人	円
短期交換特別会計分担金	今年度はいただきません	
青少年奉仕特別会計分担金	年 3,000円 × _____ 人	円
危機対策委員会分担金 (RIJYEC維持協力金)	半期 100円 × _____ 人	円
緊急災害援助準備金分担金	年 1,000円 × _____ 人	円
規定審議会準備金分担金	今年度はいただきません	
合計		円

★ 7月1日付入会の新会員を含む2021年7月1日現在の会員数の分担金となります。
7月2日以降入会の中途入会者は別の中途入会者用書式をご利用ください。

事務効率化のため、下記登録料も一緒に振り込んでいただきますようご協力お願いいたします。

「地区会員増強セミナー」 「クラブ研修リーダー育成セミナー」登録料	9月18日(土)開催	10,000円
「各分区米山協議会」登録料	9月～10月 開催予定	20,000円
「ロータリー財団補助金管理セミナー」登録料	12月5日(日)・12月11日(土)開催	10,000円
合計		40,000円

送金額合計	円
-------	---

振込先：幡多信用金庫 本店営業部 (普) 0461603

(ハタシンヨウキンコ ホンテンエイギョウブ)

口座名：国際ロータリー第2670地区 地区会計長 松田 基

(コクサイロータリーダイニロクナナマルチク チクカイケイチョウ マツダモトイ)

※ 振込の際には、必ずクラブ名を明記してください。

※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

【送信先：2021-2022年度ガバナー事務所 FAX:0880-31-0172】

2022 年 月 日

2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所 御中

2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区分担金等送金明細書（下半期）

クラブ名 _____ ロータリークラブ

幹事名 _____

銀行名 _____

支店名 _____ から _____ 月 _____ 日に振り込みました

振込期日：2022年1月31日

項目	明細	金額
地区資金	半期 4,500円 × _____ 人	円
ガバナー月信購読料 (会長幹事は無料、中途入会者はその半期は無料)	半期 1,000円 × _____ 人	円
ガバナー連絡会運営協力金	半期 100円 × _____ 人	円
ロータリー文庫運営協力金	半期 150円 × _____ 人	円
平和奨学支援協力金	年 15円 × _____ 人	円
地区大会分担金	下半期はいただきません	円
短期交換特別会計分担金	今年度はいただきません	円
青少年奉仕特別会計分担金	下半期はいただきません	円
危機対策委員会分担金 (RIJYEC維持協力金)	半期 100円 × _____ 人	円
緊急災害援助準備金分担金	下半期はいただきません	円
規定審議会準備金分担金	今年度はいただきません	円
送金額合計		円

- ★ 1月1日付入会の新会員を含む2022年1月1日現在の会員数の分担金となります。
1月2日以降入会の中途入会者は別の中途入会者用書式をご利用ください。

振込先：幡多信用金庫 本店営業部 (普) 0461603

(ハタシンヨウキンコ ホンテンエイギョウブ)

口座名：国際ロータリー第2670地区 地区会計長 松田 基

(コクサイロータリーダイニロクナナマルチク チクカイケイチョウ マツダモトイ)

- ※ 振込の際には、必ずクラブ名を明記してください。
- ※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

【送信先：2021-2022年度ガバナー事務所 FAX:0880-31-0172】

20 年 月 日

2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所 御中

2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区分担金等送金明細書（中途入会者用）

クラブ名 _____ ロータリークラブ 幹事名 _____

銀行名 _____

支店名 _____ から _____ 月 _____ 日に振り込みました

振込期日：入会月末

入会者氏名	入会年月日	月割地区資金	月数	金額
	年 月 日	750 円×	月	円
	年 月 日	750 円×	月	円
	年 月 日	750 円×	月	円
	年 月 日	750 円×	月	円
	年 月 日	750 円×	月	円
	年 月 日	750 円×	月	円
	年 月 日	750 円×	月	円
	年 月 日	750 円×	月	円
送金額合計		750 円×	月	円

★ 7月2日から12月31日、または1月2日から6月30日入会の中途入会者は、地区資金のみ下記 月数* による月割分担金扱いとなります。地区資金分担金以外のその半期の分担金は無料です。入会者毎個別に計算し合計してください。

月数*：中途入会者の月割分担金の月数の入会月については在籍日数率で切り捨てとする。

1日入会の場合、その月は満に在籍なので月数に入れる。

2日以降入会の場合、その月は月数に入れない。

振込先：幡多信用金庫 本店営業部 (普) 0461603

(ハタシンヨウキンコ ホンテンエイギョウブ)

口座名：国際ロータリー第2670地区 地区会計長 松田 基

(コクサイロータリーダイニロクナナマルチク チクカイケイチョウ マツダモトイ)

※ 振込の際には、必ずクラブ名を明記してください。

※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

【送信先：2021-2022年度ガバナー事務所 FAX:0880-31-0172】

寄付分類	寄付分類の詳細 用語説明が下にあります。 ※周年行事名や、ポール・ハリス・フェローなどの認証名は寄付分類ではありませので入力しないでください。	MD/AKS	ベネファクター	PHF/ MPHF/ PHS	RFSM/ 年次基金寄付 ゼロクラブ
年次基金-シェア	寄付金は3年後に、シェアシステムを通じて、利用されます。		× 対象外	○ 対象	○ 対象
恒久基金-シェア	元金はそのままに利用可能な収益が、シェアシステムを通じて、利用されます。		○ 対象	× 対象外	
ポリオプラス	ポリオ根絶活動を支援します。				
グローバル補助金(GG)	指定したグローバル補助金に使われます。 グローバル補助金への現金拠出の際には、ここに「GG」から始まる補助金番号を入力してください。		× 対象外	○ 対象	× 対象外
冠名基金(E)	恒久基金累計25,000ドル以上で冠名基金を設立できます。 元金はそのままに利用可能な収益が、設立の同意書で指定した用途に利用されます。 Eで始まる基金番号を入力してください。		○ 対象	× 対象外	
年次基金-基本的教育と識字率向上	寄付金は3年後に、指定した重点分野のプロジェクトに使われます。	○ 対象	× 対象外	○ 対象	○ 対象
年次基金-疾病予防と治療					
年次基金-地域社会の経済発展					
年次基金-母子の健康					
年次基金-平和構築と紛争予防					
年次基金-水と衛生					
ロータリー災害救援基金(年次基金)	寄付金は、ロータリー災害救援補助金を通じて利用されます。				
年次基金-国際財団活動資金(WF)	寄付金は、WFを通じて利用されます。				
恒久基金-ロータリー平和センター(基金指定なし)	元金はそのままに利用可能な収益が、ロータリー平和センタープログラムに使用されます。				
恒久基金-基本的教育と識字率向上	元金はそのままに利用可能な収益が、指定した重点分野のプロジェクトに使われます。	○ 対象		× 対象外	× 対象外
恒久基金-疾病予防と治療					
恒久基金-地域社会の経済発展					
恒久基金-母子の健康					
恒久基金-平和構築と紛争予防					
恒久基金-水と衛生					
恒久基金-国際財団活動資金(WF)	元金はそのままに利用可能な収益が、WFを通じて利用されます。				
冠名指定寄付(T)	一括15,000ドルまたは30,000ドル以上で、寄付は全額指定したプロジェクトに使われます。 プロジェクトに寄付者の名前を付けることができます。		× 対象外		
その他()	上記寄付分類に当てはまらない場合、入力してください。	-	-	-	-

参考 用語	認証略語
<p><シェアシステム> 寄付金を、DDF(地区財団活動資金)とWF(国際財団活動資金)にシェアして利用する方法。現在DDFとWFの割合は50%ずつです。 DDFは地区の裁量で、WFは管理委員会の裁量で、ロータリーの活動を通じて世界のために活用されます。 WFの5%が運営費のために確保されることがあります。</p> <p><国際財団活動資金 (WF)> WFへの寄付は、承認された補助金やほかの財団活動のために役立てられます。財団の管理委員会によって管理され、グローバル補助金として財団から上乗せで支給される補助金となります。</p> <p><地区財団活動資金 (DDF)> 地区はDDFを、地区補助金、グローバル補助金、寄贈に利用できます。</p> <p><大口寄付> 一括1万ドル以上の寄付。 寄付分類は寄付者のご希望に沿ってご指定ください。</p> <p><メモリアルコントリビューション> 故人を偲んで寄付をするなど、寄付者が特別な思いを持って行う寄付。 寄付分類は寄付者の希望に沿ってご指定ください。 通信欄に詳細(下記)やお手紙の送付先住所をご入力ください。 ・ お手紙の送付先住所(フリガナ付き) ・ 寄付者のお名前(ローマ字と漢字表記を併記) ・ (寄付者から見た故人との)続柄 ・ 故人のお名前(ローマ字と漢字表記を併記)</p>	<p><RFSM> 財団の友会員 <PHF> ポール・ハリス・フェロー <MPHF> マルチプル・ポール・ハリス・フェロー <PHS> ポール・ハリス・ソサエティ 会員 <MD> メジャードナー <AKS> アーチ・クラフ・ソサエティ</p>

寄付分類と認証についてのご質問や、冠名基金に関するご相談は財団室までお知らせください。RIJPNTRF@rotary.org/03-5439-5805

<寄付送金明細書入力方法>

寄付送金明細書は、銀行振込で寄付する際に、公益財団法人ロータリー日本財団へ提出する書類です。漏れなくご入力の上、<kifu@rotary.org> へお送りください。入金があっても送金明細書がないと手続きできませんので、忘れずにお送りください。
送金明細書は、寄付分類にかかわらず一つのシートにまとめ、エクセルシートのまま送付してください。

通信欄	<p>特記すべき事項を入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモリアルコントリビューションの情報、お手紙の送付先など ・振込や領収証、認証品等に関する連絡事項や漢字表記の修正・変更のご依頼など ・「公表を希望しない」にチェックすると認証レポートにも表示されない <p>TELは日中連絡が取れる電話番号を入力 送金額と、寄付送金明細書の日本円の合計が一致していることを確認 レートは数字だけを入力 着金日の月のRIレートを適用 (入力例): \$1 = ¥120の場合 「120」と入力</p> <p>RIレートはウェブサイトを参照 <https://my.rotary.org/exchange-rates> 寄付者名を入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回の表記が領収証作成のデータとなるため、正確に！ (注意例) 高橋と高橋、壽と寿、株式会社と(株) など ・寄付者漢字表記等に修正・変更がある場合は、通信欄に入力 <p>領収証は原則として再発行できないため、寄付者名をよく確認のこと ・法人寄付の場合は寄付者名には法人名を入力。会員名を記載すると個人の寄付・領収証の発行となる。法人寄付はポール・ハリス・フェロー等の個人の認証や累計にはならない 会員は登録情報通りに入力 法人の場合も正確な英語表記が必要 一字でも登録と違うと別人とみなされることがある (注意例) Sato と Satou など 正式名称・スペルは必ずご本人や会社に確認のこと。 会社の英語表記がない場合は、文字数が少なくなりに略称を使う 例: 「Kabushiki-Kaisha」⇒「CO.」「K.K.」など <p>寄付者のID番号を漏れなく入力のこと 新会員は先にMy ROTARYから会員登録してID番号を取得 新規の場合、パスポートのスペルを推奨 ID番号と名前が一致しない場合、機械処理上、ID番号所有者の寄付となることがある 寄付分類を▼でリストから選択 グローバル補助金や冠名基金は、番号を入力 ポール・ハリス・フェローなどの認証の入力をしないこと 入力がない場合、年次基金-シェアする場合があります 詳細は「寄付分類」シート参照</p> <p><良い例>年次基金-シェア/恒久基金-ポリオプラス/恒久基金-ロータリー平和センター(基金指定なし)/冠名基金(E98765)など <悪い例>ベネファクター/ポール・ハリス・フェロー/ポール・ハリス・ソサエティ/創立〇〇周年記念/新会員寄付/メモリアル など</p> <p>参考: My ROTARYの「ご寄付」→「寄付者の認証」のページ<https://www.rotary.org/ja/donate/recognition> 参考: 「寄付・認証ロータリークラブの手引き」寄付分類、個人の認証等を参照。</p> </p>
送金情報	<p>寄付者、寄付分類ごとに1行使い、円金額を入力 (経費負担を軽減するため、できるだけ一口2千円以上でお願い致します。) 補助金の現金拠出は、5%の追加分も合わせて送金する パソコン入力の場合、RIレートと円金額の入力で自動計算される 手書の場合は、小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入 機械処理上、レートにより、1セント単位の誤差が生じる場合があります</p>
寄付者名	
ローマ字名	
ID番号	
寄付分類	
円金額	
\$金額	

＜寄付分類と認証＞

認証（個人のみ）	寄付分類		
	年次基金	ポリオプラス	恒久基金
財団の友(RFSM)	○	×	×
ポール・ハリス・フェロー(PHF)		○	
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(MPHF 1～8)			
ポール・ハリス・ソサエティ(PhS)	×	×	○
ベネファクター	○	○	
メジャードナー(MD)	○	○	
アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)			

＜認証レベルと認証品＞

◆ポール・ハリス・フェロー(PHF)・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(MPHF)

PHF	1,000 ～ 1,999.99ドル	認証状と襟ピン(メダルは有料)
MPHF 1	2,000 ～ 2,999.99ドル	襟ピン (サファイア1粒)
MPHF 2	3,000 ～ 3,999.99ドル	襟ピン (サファイア2粒)
MPHF 3	4,000 ～ 4,999.99ドル	襟ピン (サファイア3粒)
MPHF 4	5,000 ～ 5,999.99ドル	襟ピン (サファイア4粒)
MPHF 5	6,000 ～ 6,999.99ドル	襟ピン (サファイア5粒)
MPHF 6	7,000 ～ 7,999.99ドル	襟ピン (ルビー1粒)
MPHF 7	8,000 ～ 8,999.99ドル	襟ピン (ルビー2粒)
MPHF 8	9,000 ～ 9,999.99ドル	襟ピン (ルビー3粒)

◆ベネファクター Benefactor(恒久基金への寄付または誓約) 認証品は初回のみ

ベネファクター	1,000ドル以上	認証状と認証ピン(ウイング)
---------	-----------	----------------

◆メジャードナー(MD)

MDレベル1	1万ドル以上	クリスタルと襟ピン/ペンダントトップ (レベルごとにクリスタルの大きさ、ピン/ペンダントの石の数が変わります)
MDレベル2	2万5千ドル以上	
MDレベル3	5万ドル以上	
MDレベル4	10万ドル以上	

◆アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)

AKS管理委員会サークル	25万ドル以上	認証状・クリスタルと襟ピン/ペンダントトップ (レベルごとにクリスタルの大きさ、ピン/ペンダントの石の数が変わります)
AKS管理委員長サークル	50万ドル以上	
AKS財団サークル	100万ドル以上	
AKS管理委員会プラチナサークル	250万ドル以上	
AKS管理委員長プラチナサークル	500万ドル以上	
AKS財団プラチナサークル	1,000万ドル以上	

2021－2022年度 東ガバナー公式訪問について

公式訪問担当幹事 田辺 豊

7月より東ガバナーの公式訪問が下記の要領にて始まりますので、よろしくお願いたします。訪問日の詳細(タイムスケジュール・随行人数等)についての打合せ窓口は、各クラブの幹事様にお願いいたします。

■会長・幹事懇談会について

(1) 開始時刻について

①昼間開催の1クラブ単独の例会へ訪問する場合

定例会開始時刻の1時間前から会長・幹事懇談会を開催。

②昼間開催の2クラブ合同例会へ訪問する場合

1クラブ目の会長・幹事懇談会は、定例会開始時刻の1時間前から開催。

2クラブ目は、定例会終了後に開催。

※夜間開催の2クラブ合同例会の場合は、定例会開始時刻の1時間前からの同時開催とさせていただきますので、ご了承ください。

③夜間開催の1クラブ単独の例会へ訪問する場合

定例会開始時刻の1時間前から会長・幹事懇談会を開催。

(2) 終了時刻について

終了時刻は、開始時刻から約40分後とします。

(3) 会場について

適当な個室会議室を用意してください。

■公式訪問時のお願い

(1) バナー交換について

公式訪問日の日付並びに会長、幹事のサインをクラブバナーの表面へご記入ください。

(2) ニコニコは5,000円。

ビジターフィーは、ガバナー、ガバナー補佐、ガバナー随行者は、持参いたしません。

(3) 写真撮影について

- *会長・幹事懇談会（2枚）
- *ガバナーの挨拶、卓話（2枚）
- *会長・幹事とのトリプルショット（2枚）

※今回全体集合写真は、希望クラブのみといたします。

※地区もデジカメを持参させていただきますが、念のためご用意ください。

(4) その他

*訪問日二週間前までに各クラブのご紹介(特徴等)を150字以内でガバナー事務所までメールにてお願いいたします。

メールアドレス nakamura@rid2670gov.info

*9月30日までの訪問はクールビズでお願いいたします。

*駐車場スペースを2台確保してください。

*お土産の準備は不要です。

*ガバナーへの夜の接待は不要です。

■注意事項

(1) 日程変更につきましては各分区ガバナー補佐を通すようお願いいたします。

(クラブ → 分区ガバナー補佐 → ガバナー事務所)

(2) ガバナー、ガバナー補佐、ガバナー随行者は、会長・幹事懇談会開始の約30分前には、会場へ到着予定にしております。

(3) 随行員につきましては、各分区のガバナー補佐を含め3人程度を予定しております。随行員の詳細は、改めて開催約2週間前までにお知らせさせていただきます。

以上、よろしくをお願いいたします。

東 邦彦ガバナー公式訪問予定表 (2021年7月～12月)

7月				8月				9月			
日	曜	訪問先	担当AG	日	曜	訪問先	担当AG	日	曜	訪問先	担当AG
1	木			1	日			1	水	12:30 徳島	徳島第Ⅰ
2	金			2	月			2	木		
3	土			3	火	12:30 観音寺東	香川第Ⅱ	3	金	12:10 伊予三島	愛媛第Ⅰ
4	日			4	水	12:30 高松南	香川第Ⅰ	4	土		
5	月			5	木	12:30 阿南南	徳島第Ⅰ	5	日		
6	火			6	金	12:30 徳島プリンス	徳島第Ⅰ	6	月		
7	水			7	土			7	火	12:30 高知ロイヤル	高知第Ⅰ
8	木			8	日	山の日		8	水		
9	金			9	月	祝日		9	木	12:30 新居浜	愛媛第Ⅰ
10	土			10	火			10	金	12:30 琴平	香川第Ⅱ
11	日			11	水			11	土		
12	月			12	木			12	日		
13	火	12:30 高松東	香川第Ⅰ	13	金			13	月		
14	水			14	土			14	火		
15	木			15	日			15	水		
16	金			16	月			16	木	18:30 道後	愛媛第Ⅱ
17	土			17	火	12:30 宇和島 18:30 八幡浜	愛媛第Ⅱ	17	金	12:30 西条	愛媛第Ⅰ
18	日			18	水			18	土		
19	月	12:30 東かがわ	香川第Ⅰ	19	木	12:30 観音寺	香川第Ⅱ	19	日		
20	火	12:30 丸亀東	香川第Ⅱ	20	金	12:30 高松西	香川第Ⅰ	20	月	敬老の日	
21	水	12:30 高知東	高知第Ⅰ	21	土			21	火	12:10 川之江	愛媛第Ⅰ
22	木	海の日		22	日			22	水	12:30 善通寺	香川第Ⅱ
23	金	スポーツの日		23	月			23	木	秋分の日	
24	土			24	火	12:30 鳴門中央	徳島第Ⅱ	24	金		
25	日			25	水	12:30 徳島中央	徳島第Ⅱ	25	土		
26	月			26	木	12:30 仁淀	高知第Ⅱ	26	日		
27	火	12:30 香長	高知第Ⅰ	27	金			27	月	12:30 高知北	高知第Ⅱ
28	水			28	土			28	火	12:30 高知	高知第Ⅱ
29	木	12:30 高松	香川第Ⅰ	29	日			29	水	12:10 大洲 19:00 伊予	愛媛第Ⅱ
30	金	12:30 小豆島	香川第Ⅰ	30	月			30	木	12:30 今治	愛媛第Ⅰ
31	土			31	火	12:30 阿南	徳島第Ⅰ				

10月				11月				12月			
日	曜	訪問先	担当AG	日	曜	訪問先	担当AG	日	曜	訪問先	担当AG
1	金			1	月	12:30 徳島北	徳島第Ⅰ	1	水		
2	土			2	火	12:30 阿波池田	徳島第Ⅱ	2	木	12:30 中芸	高知第Ⅰ
3	日			3	水	文化の日		3	金	12:30 徳島南	徳島第Ⅱ
4	月			4	木			4	土		
5	火	12:30 松山 18:30 松山西	愛媛第Ⅱ	5	金			5	日		
6	水	12:30 松山南	愛媛第Ⅱ	6	土			6	月		
7	木	12:30 脇町	徳島第Ⅱ	7	日			7	火		
8	金	12:30 小松島	徳島第Ⅰ	8	月			8	水		
9	土			9	火	12:30 徳島西 18:30 美馬	徳島第Ⅱ	9	木	12:30 宿毛	高知第Ⅱ
10	日			10	水	12:30 東予	愛媛第Ⅰ	10	金		
11	月	12:30 松山北	愛媛第Ⅱ	11	木	12:30 高知南	高知第Ⅰ	11	土		
12	火	12:15 須崎	高知第Ⅱ	12	金	12:30 高知西	高知第Ⅱ	12	日		
13	水	12:00 阿南中央 19:30 小松島南	徳島第Ⅰ	13	土			13	月		
14	木	12:30 徳島東	徳島第Ⅰ	14	日			14	火	12:30 坂出 19:00 高松中央	香川第Ⅱ 香川第Ⅰ
15	金	12:30 御所	徳島第Ⅱ	15	月	12:30 今治北	愛媛第Ⅰ	15	水	12:30 坂出東	香川第Ⅱ
16	土			16	火	12:30 今治南	愛媛第Ⅰ	16	木		
17	日			17	水			17	金		
18	月			18	木			18	土		
19	火	12:30 新居浜南 18:30 北条	愛媛第Ⅰ 愛媛第Ⅱ	19	金			19	日		
20	水	12:30 松山東	愛媛第Ⅱ	20	土			20	月	12:30 高松北	香川第Ⅰ
21	木			21	日			21	火		
22	金			22	月			22	水	12:30 中村	高知第Ⅱ
23	土			23	火	勤労感謝の日		23	木		
24	日			24	水	12:30 安芸	高知第Ⅰ	24	金		
25	月	12:30 鳴門 19:00 徳島眉山	徳島第Ⅱ 徳島第Ⅰ	25	木	12:30 高知中央	高知第Ⅰ	25	土		
26	火	12:30 鴨島	徳島第Ⅱ	26	金	12:30 阿波徳島	徳島第Ⅱ	26	日		
27	水			27	土			27	月		
28	木	12:30 丸亀 18:30 高松グリーン	香川第Ⅱ 香川第Ⅰ	28	日			28	火		
29	金	12:30 さぬき	香川第Ⅰ	29	月			29	水		
30	土			30	火	12:30 四万十	高知第Ⅱ	30	木		
31	日							31	金		

ガバナー月信発行にあたってのお願い

ガバナー月信担当幹事 上野 力
(中村 RC)

ガバナー月信は、各クラブの会員数や出席報告等を掲載するとともに、会員の関心が高く重要な事項を直接、公式に伝達するものです。

2021-2022年度も例年通り7月1日号を第1号とし、以後毎号をそれぞれ月初めに発行し、計12巻を発行する予定です。

国際ロータリー(RI) 理事会が指定した月間行事の内容、また、各クラブ・各地区委員会のさまざまな活動などをご紹介し、2670地区の皆さまを繋ぐツールの一つとしてご活用いただけるものになるよう努めてまいります。

1. 投稿にあたってのお願い

編集委員会だけでは地区の行事だけになってしまいますので、皆さまのクラブの行事や、ぜひ紹介したいという面白い出来事などを投稿してください(割り付けの都合がありますので、投稿予定の方は、前もってガバナー事務所内ガバナー月信編集委員会に事前にご一報ください)。

また、ロータリー財団、米山記念奨学その他の表彰等は、原稿締め切り日(前月10日)の関係で、各クラブ事務局を通して「1.氏名 2.内容 3.写真」をデータ化して送ってください。

2. 原稿依頼について

原稿の内容につきましては、編集委員会で検討させていただきます。原稿依頼および原稿をお送りいただくときも、各クラブ事務局を通してお願いします。また、原稿依頼時には、「原稿内容・締切日・字数・写真枚数」等をご連絡いたします。

3. 写真の送付について

写真はデジタルカメラ、携帯カメラ等でのデータ写真をメールでお送りください。その際、解像度をできるだけ高くしてお送りください。解像度が低く月信掲載に不相当と考えられるものは、やむなくお断りさせていただくこともありますのでご了承ください。

フィルムカメラで撮影した写真の場合は、プリントしたものを郵送してください。

なお、お送りいただいた写真は原則として返却いたしませんのでご了承ください。

4. 訪問日までに各クラブのご紹介(特徴等)を150字以内でお願いいたします。

以上の事項に、ご留意いただき、皆さまからの多くのご投稿をお待ちしています。

【お問い合わせ先】 ガバナー月信編集委員会 (2021 -2022 年度ガバナー事務所内)
〒787-0029 高知県四万十市中村小姓町 46 中村商工会館 2F
TEL 0880-31-0171 FAX 0880-31-0172
E-mail : nakamura@rid2670gov.info

国際ロータリー第2670地区 2021-2022年度 一般会計予算(案)

(単位:円)

収入の部

項目	2021-2022予算(案)	2020-2021予算	増減	2019-2020予算	2019-2020決算	2018-2019予算	2018-2019決算
前年度繰越	23,665,067	19,397,417		18,557,422	19,397,417	22,035,850	18,557,422
地区準備資金より繰入	12,000,000	12,000,000		12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
地区資金	27,000,000	27,000,000		27,000,000	27,663,704	27,000,000	28,110,000
R I 交付金	2,000,000	2,700,000		2,700,000	1,800,700	2,700,000	2,055,357
月信購読料	5,704,000	5,704,000		5,704,000	5,777,000	5,704,000	5,836,000
雑収入	0	0		0	0	0	0
参加者負担金	1,110,000	1,850,000		1,850,000	1,110,000	1,850,000	1,110,000
利息	5,000	5,000		5,000	345	5,000	476
地区協議会剰余金	1,000,000	1,000,000		1,000,000	0	500,000	0
地区大会剰余金	2,000,000	2,000,000		2,000,000	3,082,044	1,000,000	6,077,029
(当年度収入合計)	50,819,000	52,259,000		52,259,000	51,433,793	50,759,000	43,188,862
合計	74,484,067	71,656,417		70,816,422	70,381,210	72,794,850	73,746,284

(高知)

(香川)

(徳島)

(愛媛)

支出の部

項目	2021-2022予算(案)	2020-2021予算	増減	2019-2020予算	2019-2020決算	2018-2019予算	2018-2019決算
事務所運営費	16,180,000	16,380,000		16,118,600	13,893,624	15,640,000	16,888,263
人件費	9,800,000	9,500,000		9,000,000	7,891,423	8,800,000	8,949,410
事務所費	3,500,000	4,000,000		4,300,000	4,264,652	4,100,000	4,707,579
事務用品費	300,000	300,000		320,000	312,652	280,000	255,421
印刷費	1,100,000	1,100,000		1,000,000	421,548	1,000,000	1,516,532
通信費	650,000	650,000		650,000	465,799	650,000	1,007,795
消耗品費	300,000	300,000		318,600	272,772	280,000	110,169
会合・交際費	400,000	400,000		400,000	183,414	400,000	311,357
慶弔費	50,000	50,000		50,000	39,770	50,000	30,000
文献費	30,000	30,000		30,000	16,994	30,000	0
旅費交通費	50,000	50,000		50,000	24,600	50,000	0
地区活動費	17,000,000	18,300,000		18,550,400	16,287,146	17,529,000	19,046,598
公式訪問費	1,500,000	1,500,000		1,500,000	1,398,038	1,500,000	990,446
会合費	2,400,000	2,400,000		2,640,000	2,430,046	2,000,000	2,220,268
旅費交通費	4,500,000	4,000,000		4,000,000	3,016,557	4,000,000	4,352,308
長期青少年交換費	2,900,000	2,900,000		2,900,000	2,726,703	2,700,000	3,384,280
米山学友会補助費	0	0		0	0	0	0
委員会活動費	600,000	600,000		500,000	398,383	500,000	1,668,936
分区分区運営費	1,600,000	1,600,000		1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
ホームページ	500,000	500,000		410,400	457,272	729,000	777,600
国際協議会・国際大会費	1,800,000	1,800,000		2,000,000	1,435,440	1,500,000	1,175,036
広報費	0	0		0	0	0	0
香川地区事務所運営費	1,200,000	3,000,000		3,000,000	2,824,707	3,000,000	2,877,724
国際基督教大学寄付金	-	-		-	-	-	-
補助分担金	400,000	400,000		400,000	320,322	400,000	1,208,514
地区協議会				0	20,322	0	263,666
地区大会				0	0	0	544,848
IM	400,000	400,000		400,000	300,000	400,000	400,000
特別費	650,000	650,000		650,000	380,000	650,000	690,000
GN 餞別	300,000	300,000		300,000	300,000	300,000	300,000
IPG 記念品料	200,000	200,000		200,000	0	200,000	250,000
記念式典祝	150,000	150,000		150,000	80,000	150,000	140,000
月信費	4,640,000	4,540,000		4,540,000	4,285,051	4,540,000	4,515,492
印刷費	3,240,000	3,240,000		3,240,000	3,000,000	3,240,000	3,084,588
送料	500,000	400,000		400,000	385,856	400,000	518,304
地区概況印刷費	900,000	900,000		900,000	899,195	900,000	912,600
予備費	0	0		0	0	0	0
地区大会剰余金							
地区一般会計							
振替勘定	12,000,000	12,000,000		12,000,000		12,000,000	12,000,000
緊急災害援助準備金会計振替							
地区準備金勘定へ振替	12,000,000	12,000,000		12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
(当年度支出合計)	50,870,000	52,270,000		52,259,000	35,166,143	50,759,000	42,348,867
(当年度収入-支出)	0	0		0	4,267,650	0	839,995
次年度繰越	23,614,067	19,386,417		18,557,422	23,665,067	22,035,850	19,397,417
合計	74,484,067	71,656,417		70,816,422	70,831,210	72,794,850	73,746,284

2020年12月31日現在

(単位:円)

参考資料

収入の部

項目	2020-2021予算	上半期実績 (~2020年12月)	消化率	下半期見込 (2021年1月~)	2020-21見込	消化率
前年度繰越	19,397,417	23,665,067		0	23,665,067	
地区準備資金より繰入	12,000,000	12,000,000		0	12,000,000	
地区資金	27,000,000	13,104,000		13,500,000	26,604,000	
RI交付金	2,700,000	1,286,108		745,200	2,031,308	
月信購読料	5,704,000	2,764,000		2,842,000	5,606,000	
雑収入	0	0		0	0	
参加者負担金	1,850,000	0		0	0	
利息	5,000	178		1,000	1,178	
地区協議会剰余金	1,000,000	3,091,502		0	3,091,502	
地区大会剰余金	2,000,000	0		2,000,000	2,000,000	
(当年度収入合計)	52,259,000	32,245,788	61.7 %	19,088,200	51,333,988	98.2 %
合計	71,656,417	55,910,855		19,088,200	74,999,055	

支出の部

項目	2020-2021予算	上半期実績 (~2020年12月)	消化率	下半期見込 (2021年1月~)	2020-21見込	消化率
事務所運営費	16,380,000	10,666,533	65.1 %	6,379,860	17,046,393	104.1 %
人件費	9,500,000	6,935,140		4,364,860	11,300,000	
事務所費	4,000,000	2,249,095		420,000	2,669,095	
事務用品費	300,000	204,632		120,000	324,632	
印刷費	1,100,000	558,983		900,000	1,458,983	
通信費	650,000	405,474		360,000	765,474	
消耗品費	300,000	154,538		75,000	229,538	
会合・交際費	400,000	151,291		60,000	211,291	
慶弔費	50,000	0		50,000	50,000	
文献費	30,000	150		10,000	10,150	
旅費交通費	50,000	7,230		20,000	27,230	
地区活動費	18,300,000	5,530,813	30.2 %	5,370,000	10,900,813	59.6 %
公式訪問費	1,500,000	1,359,738		0	1,359,738	
会合費	2,400,000	523,775		200,000	723,775	
旅費交通費	4,000,000	138,680		1,700,000	1,838,680	
長期青少年交換費	2,900,000	138,620		2,300,000	2,438,620	
委員会活動費	600,000	80,000		270,000	350,000	
分区運営費	1,600,000	1,600,000		0	1,600,000	
ホームページ	500,000	0		0	0	
国際協議会・国際大会費	1,800,000	1,390,000		0	1,390,000	
R財団事務所運営費	3,000,000	300,000		900,000	1,200,000	
補助分担金	400,000	314,810	78.7 %	0	314,810	78.7 %
地区協議会	0	0		0	0	
地区大会	0	0		0	0	
IM	400,000	314,810		0	314,810	
特別費	650,000	20,000	3.1 %	300,000	320,000	49.2 %
GN 餞別	300,000	0		0	0	
IPG 記念品料	200,000	0		200,000	200,000	
記念式典祝	150,000	20,000		100,000	120,000	
月信費	4,540,000	1,874,840	41.3 %	2,865,160	4,740,000	104.4 %
印刷費	3,240,000	1,554,080		1,685,920	3,240,000	
送料	400,000	320,760		279,240	600,000	
地区概況印刷費	900,000	0		900,000	900,000	
予備費	0	0		0	0	
小口現金・仮払	0	0		0	0	
地区準備金勘定へ振替	12,000,000	12,000,000	100 %	0	12,000,000	100 %
(当年度支出合計)	52,270,000	30,406,996		14,915,020	45,322,016	
次年度繰越	19,386,417	25,503,859		4,173,180	29,677,039	
合計	71,656,417	55,910,855		19,088,200	74,999,055	

特別会計中間報告

期間：～2020年12月31日

短期交換計画会計

(単位:円)

項目	支出の部	収入の部	摘要	
前年度繰越金		2,794,273		
会員分担金		7,280,000	上半期 2,500円×2,912名	7,280,000
参加者・RC負担金				
当年度収入額		3	預金利息	3
当年度支出額	384,349		反省会費 委員会費 名刺印刷費 事務経費	107,440 222,020 47,988 6,901
次年度繰越金				
合計	384,349	10,074,276		

青少年奉仕委員会会計

(単位:円)

項目	支出の部	収入の部	摘要	
前年度繰越金		12,037,430		
会員分担金		8,736,000	上半期 3,000円×2,912名	8,736,000
当年度収入額		4	預金利息	4
当年度支出額	256,105		インターアクト ローターアクト ライラ 新世代	25,410 100,888 121,557 8,250
次年度繰越金	215,000		青少年プログラム人格権特約付 賠償責任保険	215,000
合計	471,105	20,773,434		

研究グループ交換計画会計

(単位:円)

項目	支出の部	収入の部	摘要	
前年度繰越金				
当年度収入額		343,150		
当年度支出額	0			
次年度繰越金				
合計	0	343,150		

特別会計中間報告

期間: ~2020年12月31日

規定審議会運営協力金会計

(単位:円)

項目	支出の部	収入の部	摘要	
前年度繰越金		4,403,993		
会員分担金		291,200	上半期 100円×2,912名	291,200
当年度収入額		0	預金利息	0
当年度支出額	0		規定審議会参加費 打ち合わせ会参加費 振込手数料	
次年度繰越金				
合計	0	4,695,193		291,200

国際奉仕ファンド会計

(単位:円)

項目	支出の部	収入の部	摘要	
前年度繰越金		953,049	キャンプ・メリー・ハートへの寄付 前年度持越金¥10,092含む	
当年度収入額		20,000	書き損じハガキ(2RC)	20,000
当年度支出額	200,880		ISFファンド「鴨島RC」 事務費	200,000 880
次年度繰越金				
合計	200,880	973,049		

緊急災害援助準備金会計

(単位:円)

項目	支出の部	収入の部	摘要	
前年度繰越金		45,061,189		
会員分担金		2,912,000	上半期 1,000円×2,912名	2,912,000
当年度収入額		2,817,184	九州北部豪雨災害支援金	2,817,184
利息		71		71
当年度支出額	4,801,760		2700地区北九州(熊本)豪雨災害支援金	2,400,000
			2710地区北九州(福岡)豪雨災害支援金	2,400,000
			振込手数料	1,760
次年度繰越金				
合計	4,801,760	50,790,444	残	45,988,684

特別会計中間報告

期間:~2020年12月31日

米山奨学委員会会計

(単位:円)

項 目	支出の部	収入の部	摘 要
前年度繰越金		1,276,065	
当年度収入額		2,656,500	補助費 1,176,500 奨学金 0 分区協議会登録料 1,480,000
当年度支出額	1,154,460		奨学金 0 地区委員旅費交通費 201,060 会合費 524,638 奨学生卓話経費 220,000 奨学生損害保険料 120,582 事務経費 88,180
次年度繰越金			
合 計	1,154,460	3,932,565	

青少年活動助成基金会計

(単位:円)

項 目	支出の部	収入の部	摘 要
前年度繰越金		3,453,414	
当年度収入額			
当年度支出額	0		
次年度繰越金			
合 計	0	3,453,414	

振替勘定

期間：～2020年12月31日

地区大会分担金

(単位：円)

項目	支出の部	収入の部	摘要
当年度収入額		17,472,000	上半期のみ 6,000円×2,912名 17,472,000
利息		8	8
当年度支出額	5,445		地区大会打ち合わせ 5,445
合計	5,445	17,472,008	

ガバナー会運営協力金

(単位：円)

項目	支出の部	収入の部	摘要
当年度収入額		292,600	上半期 100円×2,926名 292,600 (衛星クラブ14名含む)
当年度支出額	292,600		
合計	292,600	292,600	

ロータリー文庫運営協力金

(単位：円)

項目	支出の部	収入の部	摘要
当年度収入額		438,900	上半期 150円×2,926名 438,900 (衛星クラブ14名含む)
当年度支出額	438,900		
合計	438,900	438,900	

危機対策委員会協力金

(単位：円)

項目	支出の部	収入の部	摘要
当年度収入額		292,600	上半期 100円×2,926名 292,600 (衛星クラブ14名含む)
当年度支出額	292,600		
合計	292,600	292,600	

平和奨学生支援協力金

(単位：円)

項目	支出の部	収入の部	摘要
当年度収入額		0	下半期のみ
当年度支出額	0		
合計	0	0	

参考資料

2021-2022年度 国際ロータリー第2670地区 地区組織図 (案)

RI会長 シェカール・メータ

直前RI会長 ホルガー・クナーク

RI会長エレクト ジェコファー-E. ジョーンズ

第3地域ポリオ根絶コーディネーター 前田 直俊

ロータリー公営イメージコーディネーター補佐 桑原 征一

ロータリー平和センター広報アンバサダー 大島 浩輔

(財)ロータリー米山記念奨学会 理事 稲山 三治

ロータリーの友地区代表委員 真屋 正明

地区歴代ガバナー ※三宅徳三郎 (1962-63) ※宮本 哲 (1965-66) ※宮崎 研一 (1967-68) ※川中 昌一 (1970-71) ※山中正二郎 (1971-72) ※入太兵衛 (1972-73) ※今谷 健一 (1973-74) ※渡部 兼雄 (1974-75) ※福田 義郎 (1976-77) ※高瀬浅次郎 (1977-78) ※梶浦 輝一 (1978-79) ※中島 源 (1979-80) ※近藤 良一 (1980-81) ※谷村 健助 (1981-82) ※大見 正俊 (1982-83) ※山田 静夫 (1983-84) ※牟禮 米一 (1984-85) ※濱川金兵衛 (1985-86) ※松野 明 (1986-87) ※萩原 茂 (1987-88) ※三宅 俊三 (1988-89) ※橋本 憲佳 (1989-90) ※佐々木善堯 (1990-91) ※井内 堯治 (1991-92) ※阿河 正昭 (1992-93) ※田村 俊久 (1993-94) ※須之内淳二 (1994-95) ※佐藤 成俊 (1995-96) ※三宅 洋三 (1996-97) ※吉村 雄治 (1997-98) ※原 勝 (1999-00) 太田 英章 (2000-01) 掛水 俊彦 (2001-02) 松本 東 (2002-03) 桑原 信義 (2003-04) 今井 正信 (2004-05) 前田 忠悟 (2006-07) 稲山 三治 (2007-08) 豊田 章二 (2008-09) 岡内 紀雄 (2009-10) 亀井 義弘 (2010-11) 美馬 精一 (2011-12) ※木村大三郎 (2012-13) 関 裕司 (2013-14) 佐々木善教 (2014-15) 山田 戒乘 (2015-16) 前田 直俊 (2016-17) 柳澤 光秋 (2017-18) 桑原 征一 (2018-19) 大島 浩輔 (2019-20) 篠原 徹 (2020-21)

ガバナー 東 邦彦

直前ガバナー 篠原 徹

ガバナーエレクト 八田 光

ガバナーノミニー 吉岡 宏美

諮問委員会 太田 英章 掛水 俊彦 桑原 信義 今井 正信 稲山 三治 豊田 章二 亀井 義弘 美馬 精一 関 裕司 佐々木善教 山田 戒乘 前田 直俊 柳澤 光秋 桑原 征一 大島 浩輔 篠原 徹

地区研修リーダー 柳澤 光秋 地区研修委員会委員 東 邦彦

財務委員会 ◎伊東 省司 川人 洋一 市原 行富

指名委員会 ◎前田 直俊 柳澤 光秋 桑原 征一 大島 浩輔 篠原 徹

規定審議委員会 ◎前田 直俊 大島 浩輔 佐々木善教 山田 戒乘 柳澤 光秋

RI会長賞地区選考委員会 ◎大島 浩輔 篠原 徹 東 邦彦 八田 光

拡大カウンセラー 篠原 徹 東 邦彦

会員増強・維持・退会防止委員会 ☆篠原 徹 ◎堀 祥二 佐々木善康 野本 政孝 泉 恭宏 井内 啓二 花岡 通子 畠山 寛 利岡 徹

ガバナー補佐 愛媛第1分区 佐々木 善康 愛媛第2分区 野本 政孝 徳島第1分区 泉 恭宏 徳島第2分区 井内 啓二 香川第1分区 堀 祥二 香川第2分区 花岡 通子 高知第1分区 畠山 寛 高知第2分区 利岡 徹

地区内74ロータリークラブ

地区幹事 代表幹事 大塚 和助 副代表幹事 青木 史仁 副代表幹事 大杉 幸雄 副代表幹事 田辺 豊 副代表幹事 明神 三幸 クラブ奉仕 杉本 一博 職業奉仕 明神 三幸 社会奉仕 大杉 幸雄 国際奉仕 荒川 泰士 青少年奉仕 白木 久雄 ロータリー財団 一藤 勝之 米山記念奨学 稲田 玲子 広報・IT 星野 玲子 会員増強 梅原 薫 公式訪問 田辺 豊 上野 力

PETS・DTTS 実行委員長 小松 昭二 地区研修・協議会 実行委員長 青木 史仁 地区大会 実行委員長 田辺 豊

地区会計 会計長 松田 基 副会計長 田辺 豊

ロータリー財団監査委員会 ◎関 裕司 矢野 誠 山沖 直樹

長期戦略委員会 ☆大島 浩輔 ★篠原 徹 ★東 邦彦 ★八田 光 ◎安藤 賢一 中川 透 坂井 幸博 大塚 和助

危機管理委員会 委員長(直前ガバナー) 篠原 徹 バストガバナー 関 裕司 ガバナーエレクト 八田 光 ガバナーノミニー 吉岡 宏美 ロータリー財団委員長 前田 直俊 青少年奉仕委員長 藤原 賢治 国際奉仕委員長(長期交換委員長) 瀬野 長久 国際奉仕委員会短期交換委員長 竹内 康祐 青少年奉仕委員会インターアクト委員長 門田 義仁 青少年奉仕委員会ロータリーアクト委員長 西本 隆信 青少年奉仕委員会ライラ委員長 米山 徹太 青少年奉仕委員会新世代委員長 山内 浩司 米山記念奨学委員長 津田 久敬 広報IT委員長 久保 英明 地区研修リーダー 柳澤 光秋 司法関係者/弁護士 伊野部 啓 メディア関係者/高知さんさんテレビ編支局長 澤村 栄治 ガバナーパートナー 東 典子

クラブ奉仕委員会 ☆桑原 信義 ◎杉本 一博 奥島 直道 東條総一郎 大平 正大 尾田 安広

職業奉仕委員会 ☆美馬 精一 ◎明神 三幸 渡辺 均 佐藤 允男 陸久 正順

国際奉仕委員会 ☆太田 英章 ◎篠田 日出海 (長期交換) 瀬野 長久 渡邊 政富 高須賀 盛満 大久保 聡 昌山 巧 永野 正将 山崎 真人 (短期交換) 竹内 康祐 副 竹村 克彦 星加 裕史 鴨川 宏安 高橋 伸定 藤崎 吉正 真鍋 和二郎 美馬 香都子 濱崎 直哉 植條 敬介 藤井 紀子 福田 良吉

(国際奉仕ファンド) ○伊勢 英利 篠原 孝賢 MASOUD SOBHANI

ロータリー財団委員会 ☆豊田 章二 ◎前田 直俊 ◎赤松 昭信 (資金管理) ○堀 祥二 副 大寺 健司 ○青木 博美 副 三倉 孝文 藤野 茂 三浦 秀之 米田 均 塩田 学 山村 一正 一藤 勝之 (資金推進) ○山崎 広一郎 泊 健一 前田 直宏 ○大森 克介 菅井 久勝 (奨学金・学友・平和フェロー) ○森脇 康之 伊藤 成基 山崎 泰志 武政 賢洋

米山記念奨学委員会 ☆稲山 三治 ◎津田 久敬 石村 浩 重松 宗孝 森 雄司 松浦 良彦 林 政憲 藤岡 雅彦 吉田 茂 秋山 佳弘 津野 克久 武田 倫和

ロータリー財団委員会 ☆豊田 章二 ◎前田 直俊 ◎赤松 昭信 (資金管理) ○堀 祥二 副 大寺 健司 ○青木 博美 副 三倉 孝文 藤野 茂 三浦 秀之 米田 均 塩田 学 山村 一正 一藤 勝之 (資金推進) ○山崎 広一郎 泊 健一 前田 直宏 ○大森 克介 菅井 久勝 (奨学金・学友・平和フェロー) ○森脇 康之 伊藤 成基 山崎 泰志 武政 賢洋

米山記念奨学委員会 ☆稲山 三治 ◎津田 久敬 石村 浩 重松 宗孝 森 雄司 松浦 良彦 林 政憲 藤岡 雅彦 吉田 茂 秋山 佳弘 津野 克久 武田 倫和

ロータリー財団委員会 ☆豊田 章二 ◎前田 直俊 ◎赤松 昭信 (資金管理) ○堀 祥二 副 大寺 健司 ○青木 博美 副 三倉 孝文 藤野 茂 三浦 秀之 米田 均 塩田 学 山村 一正 一藤 勝之 (資金推進) ○山崎 広一郎 泊 健一 前田 直宏 ○大森 克介 菅井 久勝 (奨学金・学友・平和フェロー) ○森脇 康之 伊藤 成基 山崎 泰志 武政 賢洋

米山記念奨学委員会 ☆稲山 三治 ◎津田 久敬 石村 浩 重松 宗孝 森 雄司 松浦 良彦 林 政憲 藤岡 雅彦 吉田 茂 秋山 佳弘 津野 克久 武田 倫和

ロータリー財団委員会 ☆豊田 章二 ◎前田 直俊 ◎赤松 昭信 (資金管理) ○堀 祥二 副 大寺 健司 ○青木 博美 副 三倉 孝文 藤野 茂 三浦 秀之 米田 均 塩田 学 山村 一正 一藤 勝之 (資金推進) ○山崎 広一郎 泊 健一 前田 直宏 ○大森 克介 菅井 久勝 (奨学金・学友・平和フェロー) ○森脇 康之 伊藤 成基 山崎 泰志 武政 賢洋

米山記念奨学委員会 ☆稲山 三治 ◎津田 久敬 石村 浩 重松 宗孝 森 雄司 松浦 良彦 林 政憲 藤岡 雅彦 吉田 茂 秋山 佳弘 津野 克久 武田 倫和

ロータリー財団委員会 ☆豊田 章二 ◎前田 直俊 ◎赤松 昭信 (資金管理) ○堀 祥二 副 大寺 健司 ○青木 博美 副 三倉 孝文 藤野 茂 三浦 秀之 米田 均 塩田 学 山村 一正 一藤 勝之 (資金推進) ○山崎 広一郎 泊 健一 前田 直宏 ○大森 克介 菅井 久勝 (奨学金・学友・平和フェロー) ○森脇 康之 伊藤 成基 山崎 泰志 武政 賢洋

社会奉仕委員会 ☆山田 戒乘 ◎大杉 幸雄 成瀬 要三 祖父江 貴 東 内 水科 賢司

青少年奉仕委員会 ☆今井 正信 ◎藤原 賢治 ○門田 義仁 阿部 真弓 大泉 真二郎 丁井 淳史 村上 佳孝 中村 秀樹 岡内 誠司 藤重 直紀 井上 孝

(インターアクト) ○西本 隆信 永井 東洋 井上 真人 北野 将庸 林 幸隆 浦川 和倫

(ローターアクト) ○米山 徹太 阿部 真弓 横井 裕恵 高橋 徹 田部 井優介 森 廣一 橋口 基城 福島 啓之 野村 栄一

(ライラ) ○山内 浩司 木村 敏明 木下 英雄 三 好二 山原 一夫

米山記念奨学委員会 ☆稲山 三治 ◎津田 久敬 石村 浩 重松 宗孝 森 雄司 松浦 良彦 林 政憲 藤岡 雅彦 吉田 茂 秋山 佳弘 津野 克久 武田 倫和

ロータリー財団委員会 ☆豊田 章二 ◎前田 直俊 ◎赤松 昭信 (資金管理) ○堀 祥二 副 大寺 健司 ○青木 博美 副 三倉 孝文 藤野 茂 三浦 秀之 米田 均 塩田 学 山村 一正 一藤 勝之 (資金推進) ○山崎 広一郎 泊 健一 前田 直宏 ○大森 克介 菅井 久勝 (奨学金・学友・平和フェロー) ○森脇 康之 伊藤 成基 山崎 泰志 武政 賢洋

米山記念奨学委員会 ☆稲山 三治 ◎津田 久敬 石村 浩 重松 宗孝 森 雄司 松浦 良彦 林 政憲 藤岡 雅彦 吉田 茂 秋山 佳弘 津野 克久 武田 倫和

ロータリー財団委員会 ☆豊田 章二 ◎前田 直俊 ◎赤松 昭信 (資金管理) ○堀 祥二 副 大寺 健司 ○青木 博美 副 三倉 孝文 藤野 茂 三浦 秀之 米田 均 塩田 学 山村 一正 一藤 勝之 (資金推進) ○山崎 広一郎 泊 健一 前田 直宏 ○大森 克介 菅井 久勝 (奨学金・学友・平和フェロー) ○森脇 康之 伊藤 成基 山崎 泰志 武政 賢洋

米山記念奨学委員会 ☆稲山 三治 ◎津田 久敬 石村 浩 重松 宗孝 森 雄司 松浦 良彦 林 政憲 藤岡 雅彦 吉田 茂 秋山 佳弘 津野 克久 武田 倫和

ロータリー財団委員会 ☆豊田 章二 ◎前田 直俊 ◎赤松 昭信 (資金管理) ○堀 祥二 副 大寺 健司 ○青木 博美 副 三倉 孝文 藤野 茂 三浦 秀之 米田 均 塩田 学 山村 一正 一藤 勝之 (資金推進) ○山崎 広一郎 泊 健一 前田 直宏 ○大森 克介 菅井 久勝 (奨学金・学友・平和フェロー) ○森脇 康之 伊藤 成基 山崎 泰志 武政 賢洋

米山記念奨学委員会 ☆稲山 三治 ◎津田 久敬 石村 浩 重松 宗孝 森 雄司 松浦 良彦 林 政憲 藤岡 雅彦 吉田 茂 秋山 佳弘 津野 克久 武田 倫和

ロータリー財団委員会 ☆豊田 章二 ◎前田 直俊 ◎赤松 昭信 (資金管理) ○堀 祥二 副 大寺 健司 ○青木 博美 副 三倉 孝文 藤野 茂 三浦 秀之 米田 均 塩田 学 山村 一正 一藤 勝之 (資金推進) ○山崎 広一郎 泊 健一 前田 直宏 ○大森 克介 菅井 久勝 (奨学金・学友・平和フェロー) ○森脇 康之 伊藤 成基 山崎 泰志 武政 賢洋

・退会された方 ※物故された方 注記) ☆カウンセラー ★オブザーバー ◎委員長 ○実行委員長 ○小委員長 ①、②等の表記は継続年数を表す

国際ロータリー第2670地区旅費規程

国際ロータリー第2670地区会計で支出する交通費、宿泊費、諸費、登録料等は本規定による。但し、予算の都合により、変更又は打ち切りとすることがある。

1. G・IPG・GE・GN・PGが義務出席の会合に出席する場合の旅費規程（地区大会以外）※1

	交通費	宿泊費（1泊）	諸費（1出張）	登録料
地区内・外	実費（規定による）	8,000円	0円	実費

義務出席について

- 当地区あるいはRI、RI日本事務局から出席要請を受けた場合、この旅費を支給する。
- Gの要請により代理で出席する場合には、Gに準じて支給する。
但し、当地区以外から受け取る旅費と重複しないようにする。

交通費（実費）規定

- 遠距離出張は航空機利用を原則とし、最寄りの空港から目的地の最寄り空港間の航空料金を支給する。
- できるだけシニア割引などを利用していただき、費用の節約に協力していただく。
- 近距離出張は ①鉄道 ②バス ③自家用車 ④他車に同乗 を事前に申告していただく。
 - ① 鉄道 … 最寄の駅から目的地の最寄り駅間の鉄道料金（普通運賃+特急グリーン料金）を支給
 - ② バス … 高速バス料金を支給
 - ③ 自家用車 … ガソリン代+高速道路料金とし、ガソリン代は別記計算方法による。 ※2
 - ④ 他車に同乗 … 一律1,000円とする。 ※3
 - ⑤ 小豆島航路等船舶利用 … 高速艇料金を支給する。

宿泊費について

- 宿泊費が東京都心等で実状とかけ離れる場合には考慮する。

2. G・IPE・GE・GN・PGのご夫人が義務出席の会合に出席する場合の旅費規程（地区大会以外）

	交通費	宿泊費（1泊）	諸費（1出張）	登録料
地区内・外	実費（規定による）	8,000円	0円	実費

- ガバナー会（7月中旬）、GETS（9月中旬）、ロータリー研究会（12月初旬）等、義務出席の会合には上記支給する。
- 他車に同乗…一律1,000円とする。 ※3

3. Gが地区内クラブの周年行事に出席する場合の旅費規定

	交通費	宿泊費（1泊）	諸費（1出張）	祝金
地区内・外	実費（規定による）	8,000円	0円	10,000円

- 出席者は原則としてGとする。Gの要請により代理で出席する場合には、Gに準ずる。

4. G及びG夫人が国際協議会に出席する場合の旅費規程

- 国際協議会に出席する費用は、地区会計で負担する。

参考資料

5. G及びG夫人が国際大会に出席する場合の旅費規程

- 国際大会に出席する費用は、自己で負担する。

6. その他の地区役員の旅費規程

	交通費	宿泊費（1泊）	諸費（1出張）	登録料
地区内	自家用車使用料	8,000円	0円	実費
地区外	実費（規定による）	8,000円	0円	実費

- G等と旅程を共にする場合には、Gに準じて支給することができる。
- ①自家用車 ②他車に同乗 を事前に申告して頂く。
 - ① 自家用車 … ガソリン代+高速道路料金とし、ガソリン代は別記計算方法による。※2
 - ② 他車に同乗 … 一律1,000円とする。
- 小豆島RC所属の役員については、別途高速艇料金（往復）を支給する。
（例：小豆島RC⇒高速艇乗り場⇒高速艇降り場⇒目的地）

ガソリン代 + 高速艇料金 + (ガソリン代 + 高速道路料金)

7. 地区大会の旅費規程

- ◆ 2670地区大会に参加する地区内IPG・GE・GN・PG及び同夫人の旅費規程（地区大会会計で負担する）

	交通費	宿泊費（1泊）	諸費（1出張）	登録料
IPG・GE・GN・PG	実費（規程による）	8,000円	0円	0円
同上夫人	実費の半分	4,000円	0円	0円

- 当地区大会への出席に際し、登録料（懇親会費含）及びRI会長代理歓迎晩餐会費は所属クラブに請求し、祝金はいただかない。
- 記念ゴルフ大会の参加費とその為の宿泊費は自己負担とする。
- 2670地区大会に参加する他地区のG・IPG・GE・GN・PGについては、登録料はいただき祝金はいただかない。但し、大会プログラム講師等として招待した場合はこの限りではない。

- ◆ 他地区大会に参加するG及びG夫人の旅費規程

	交通費	宿泊費（1泊）	諸費（1出張）	登録料
G	実費（規定による）	8,000円	0円	実費
G夫人	実費の半分	8,000円	0円	実費

- ※1 G：ガバナー、IPG：直前ガバナー、GE：ガバナーエレクト、GN：ガバナーノミニー、PG：パストガバナー

- ※2 ガソリン代は各RC例会場から目的地の距離（km）を「NAVITIME」内の「自動車ルート検索」を使用して計算し、ガソリン代は1ℓあたり150円で計算する。また、1円単位は四捨五入とする。
高速道路料金は、ETC割引の適用要件がある日時は、ETC割引料金を適用する。
近隣で行われる会合等の場合は、RC所属の地区役員交通費は0円とする。

- ※3 他車交通費が1,000円に満たない場合の同乗者の交通費は0円とする。

- ※4 RC所属の地区役員交通費は、事前申告が鉄道及びバスであっても、自家用車での計算方法とする。

この旅費規定は2021年7月1日から実施する。



会員増強・維持・退会防止委員会からのお願い

2021-2022年度 会員増強・維持・退会防止委員会

委員長 堀 祥二

(高松南 RC)

2021-2022年度国際ロータリー会長のシェカール・メータ氏は、そのメッセージの中で、夢は2022年7月1日までに会員数を130万人に増やすことです、と目標を示されています。氏はこの信じられないような目標を達成するために「each one , bring one」、つまり、地区のすべてのロータリアンに、新会員1名を入会させるようお願いしてほしい、と全ガバナー(エレクト)に伝えました。

2021-2022年度国際ロータリー第2670地区ガバナーの東邦彦氏は、地区運営方針の中で、「成長しようロータリアン」(Grow Rotarian)というテーマの下、会員基盤の拡大とクラブの活性化をお願いし、数値目標として、各クラブにおいて会員数純増2名を期待しています。

次年度地区研修リーダーの PDG柳澤光秋氏は、ガバナー補佐(エレクト)研修セミナーで、全世界でのロータリアン総数は約120万人で頭打ちだが、アメリカ・日本で減、ブラジル・インド・台湾で増という傾向があり、日本(34地区)の会員数が減ったことにより、外国(パキスタン・バンラデシュ・インドネシアの6地区)が東日本(主

に東北・北海道)と一緒に世界第1ゾーンへ入り、第2・第3ゾーンへの帰属が変化し、日本人RI理事の数が減り、RIに対する日本の意見が通りにくくなっている。

また、RI第2670地区内に目を移せば、会員数が30人未満のクラブが約40%あり、会員数減少傾向のクラブが増え、クラブの維持が難しくなっている、と教えていただきました。

会員増強・維持・退会防止委員会は、篠原徹ガバナーをカウンセラーとし、地区内各分区のガバナー補佐(エレクト)8名が委員となって構成されています。ガバナー公式訪問や、ガバナー補佐クラブ訪問時などに、全てのロータリアンが「each one , bring one」という意識を持つことと、各クラブに会員基盤の拡大とクラブの活性化、そして会員数純増2名をお願いすることになると思います。

結果として、年度末には地区内ロータリアン総数が3,000名を回復、維持できることを目標とし、また、楽しく活発なクラブ運営ができるようにサポートすることに努めますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



クラブ奉仕委員会よりお知らせ

2021-2022年度 クラブ奉仕委員会
委員長 杉本 一博
(中村 RC)

2021-2022年度地区クラブ奉仕委員長を拝命いたしました中村ロータリークラブの杉本一博です。

「クラブ奉仕」とは、所属するクラブ活動を円滑に機能、充実させるためにクラブ会員がとるべき行動に関わる奉仕活動です。ロータリーの五大奉仕の第一奉仕部門として規定されています。

本委員会の任務は、クラブの将来性・継続性を重視した育成強化と、会員維持・会員増強の支援、そして独自のクラブ運営方針です。

昨年に引き続き、コロナ禍で過去にない状況下でのスタートとなりますが、やはりロータリーの大切な財産は会員です。その会員数がコロナ禍の影響による厳しい経済・社会情勢となる中、退会者が増えつつあり、地区最大の「危機」といっても過言ではありません。

まずはロータリーの魅力と力を再興するために、2021-2022年度は会員維持・増強を重点課題としてください。シェカール・メータ RI会長、そして東邦彦ガバナーも、「こんな時代だからこそ会員増強」を重要課題としています。

クラブの会員は単に入会の勧誘をする活動だけではなく、「魅力あるクラブづくり」「広報活動による認知度の向上」「体系的な増強活動と退会防

止」などの活動がうまくかみ合っ、会員維持率も向上し実りある活動となります。各クラブ会員純増に積極的に取り組んでください。

クラブの各委員会は、それぞれの地域での活動計画を図ると同時に、クラブの強化、活性化をサポートすることも重要です。また、新会員に対しては、会員とのコミュニケーションを図りながら、ロータリーに関する情報の提供並びに、オリエンテーションを実施するなど理解を深めていただきますようお願いいたします。

まだまだ新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、各クラブにおきましては非常に活動計画を立てにくい状況となっております。そんな中、まずは、ロータリアンおよび事業参加者の安全を最優先とし、それぞれの活動におきましては適宜な判断でもって進めていただきますようお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症が収束し、会員の皆様が平穏な生活に戻り、ロータリー活動を楽しめる日が早く訪れることをお祈りしています。一年間、皆様のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



職業奉仕委員会よりお知らせ

2021-2022年度 職業奉仕委員会
委員長 **明神 三幸**
(中村 RC)

新型コロナウイルス感染症拡大により、次年度に向けての「地区研修・協議会」は中止となりました。誠に残念ではありますが、2021-2022年度の地区活動方針を報告させていただきます。

私にとって「職業奉仕」とは何か、そのきっかけとなったのは、「ロータリー活動は倫理運動である」という言葉が理解できるようになったからです。倫理とは「人間が正しく生きる道」を説くものです。

「人を泣かせるようなことをしてはいけない」
「人を欺いてはいけない」
「非人道的行為をしてはいけない」
「世のため、人のために尽くしなさい」
というのが倫理の教えです。

古来、日本人が日々の営みの中、仏教・儒教の教えや自然界の神々の信仰などで培ってきた日本的な「倫理」ではないでしょうか。

職業奉仕と社会奉仕の区別については、これまで議論されてきました。

〈奉仕活動によって、受益者が自分以外の地域の人々、もしくは地域社会の場合は「社会奉仕」でありましょう〉

〈奉仕活動によって、受益者が自分自身の場合「職業奉仕」でありましょう〉と結論づけられています。

しかしながら、職業奉仕も社会奉仕も活動して行く中で、同じような結果になることがあると思いますが、職業奉仕の受益者は自分自身(自分の会社)であり、社会奉仕の受益者は、他の人(他の会社)ということです。

職業奉仕の理念を考える中で、職業は金儲けの手段です。その利益で人件費や仕入れなどの経費を支払います。また、それによってお客様に喜んでいただき、会社の信用度も高くなります。この信用、信頼こそが大きな「受益」となるのです。

近江商人の「三方良し」という商法の考え方がありますが、正にこれこそ職業奉仕の理念ではないかと考えます。

今、世界は新型コロナウイルス、異常気象、グローバル社会の中での大国の国益重視など地球規模の課題に不安は増すばかりです。

私は、「職業奉仕」をロータリーの根幹と位置づけ、自己の職業にとって非常に大事な倫理活動であると認識すべきだと思います。

ロータリアンの皆様には、職業奉仕月間の活動に止まらず、日頃から自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在となりますことを願っております。



社会奉仕委員会よりお知らせ

2021-2022年度 社会奉仕委員会
委員長 大杉 幸雄
(中村 RC)

2021-2022年度地区社会奉仕委員長を拝命致しました、中村ロータリークラブの大杉幸雄です。

2021-2022年度国際ロータリー会長の、シェカール・メータ氏の掲げるテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。

この年度内に私たちが共用するロータリーのビジョンに導かれながら大きな夢に向かってください、この旅路において、皆さんは地区のロータリアンとして目標を設定し、「もっと行動し、もっと成長を」と話されています。

さて、昨年度の社会奉仕委員会の主な活動計画に、「おもてなし遍路道ウォーク」がありましたが、全世界を恐怖の渦に巻き込んだコロナウィルス感染症の影響で、思うような活動ができませんでした。再び本年度の活動計画にと思っていますが、コロナウィルスの状況を見据えながら、実行をしていきたいと考えています。その時には各クラブの社会奉仕委員長様に、地区の状況についての問い合わせを致しますのでよろしくお願い致します。

昨年度は例会の開催も、ままならず休会が多い年度でした。本年度はスムーズに例会が開催出来ると思いますが、残念ながらコロナウィルス感染がいつ収束するかわかりません。

三密を避けながらの奉仕活動には制限があり、小規模な活動になると思われれます。

例えば、地域においてのボランティア活動への積極的な参加、またイベントのお手伝い、学校での催し物などのお手伝い等が出来るのではないのでしょうか。

まだまだコロナ禍により、各クラブ独自の事業活動は制限されます。地域の方々とのコミュニケーションを大切にしながら、どの活動が今の地域に必要なか、地域の人々に喜んでもらえる活動は何なのかを考えていただけたら幸いです。

クラブの社会奉仕委員会の情報だけでなく、クラブ全体の奉仕活動として考え、活動を通じてロータリーの存在をアピールするようにお願い致します。



SDGs(持続可能な開発目標)の国際奉仕活動の推進

2021-2022年度 国際奉仕委員会

委員長 篠田 日出海

(高松南 RC)

前年度に引き続き2021-22年の地区国際奉仕委員長を仰せつかっております高松南ロータリークラブの篠田日出海でございます。

前年度は新型コロナウイルス(COVID-19)が流行して海外との交流が停滞し、今年度も未だこの流行が終息しない状況にあります。ロータリー基本理念の一つが「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。」と言うのがあります。

しかし、このコロナ禍では“世界的ネットワークを通じて”の国際的ボランティア活動や、海外パートナーとの協同活動を行うのが困難な状態です。

当地区の国際奉仕委員会では、長期交換委員会、短期交換委員会、国際奉仕ファンド委員会の3つの(小)委員会により“国際理解・親善・平和”を推進しています。

青少年の交換プログラム(長期・短期)は、前述の COVID-19に関する派遣先国および我々受入国の状況により、前年度に引き続き今年度もプログラム実施の中止を決定しております。この交換プログラムの参加年齢に達したら応募したい、と長年希望されていた青少年の皆さんの落胆は如何ばかりかと残念でなりません。

地区国際奉仕委員会の各委員会プログラム

委員会	分掌プログラム	プログラム概要	活動状況
長期交換委員会	ロータリー青少年長期交換プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・期間:約1年間の長期交換 ・対象:高校生(派遣・受入各5名程度) ・形態:個別派遣・受入 ・【派遣(Outbound)】米国、豪州等へ現地校へ編入ホームステイ ・【受入(Inbound)】米国、豪州等から受入クラブにある高校に編入ホームステイ 	2020-21年度中止 2021-22年度中止
短期交換委員会	ロータリー青少年短期交換プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・期間:約3週間の短期交換(夏期に実施) ・対象:高校生(派遣・受入各30名程度) ・形態:団体派遣・受入 ・【派遣(Outbound)】米国ニュージャージー州RI7475地区へ現地校生と交流、研修旅行等ホームステイ ・【受入(Inbound)】米国ニュージャージー州RI7475地区から受入クラブにある高校生と交流、研修旅行等ホームステイ 	2020-21年度中止 2021-22年度中止
国際奉仕ファンド委員会	ファンド活用国際奉仕	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ実施の国際奉仕活動への補助金(ファンド原資) ・キャンペーリーハート(米RI7475地区の障害者施設)への寄付金募集と贈呈 ・書き損じはがきキャンペーン(UNESCO世界寺子屋運動)への寄付金募集と贈呈 ・クラブの国際奉仕活動の支援・協力 	コロナ禍における人道支援を重点

長期・短期の両交換委員会は昨年後半までプログラムの実施について協議・検討を続けた結果、まず、参加青少年の身体安全が第一であり、RIJYEM(ライジェム：国際ロータリー日本青少年交換多地区交換機構)の方針・指針に従って、両プログラムが中止に至ったことをご理解願います。これに関連して長期交換委員会が、「青少年交換プログラム参加者の“命”と“安全”を守る」ことを目的に、RIJYEMへ提出する「第2670地区危機管理計画」を策定中です。

今年度の国際奉仕ファンド委員会の活動は、コロナ禍における発展途上国の貧困脱却や識字率向上、健康向上等の人道的支援を重点的に推進して

いきたいと考えています。この支援奉仕活動の基本は、支援金を贈るだけでなく“顔の見える”「人と人」の繋がりが大事です。しかし、支援国現地へ赴くことが出来ないため、リモートで現地のマッチング・クラブと状況報告等の連絡を密にしてプロジェクト状況を把握し、稔り多きファンドの投資効果現出を期待しています。

現況下で COVID-19終息の見通しがつきませんが、SDGs(持続可能な開発目標)の数点の目標「貧困絶滅」「飢餓ゼロ」「健康・福祉」「教育」「安全な水」等を踏まえて、国際奉仕活動を推進したいと思っております。みなさんのご協力をお願い致します。



長期交換小委員会の 2021-2022 年度の方針

2021-2022年度 国際奉仕委員会 長期交換小委員会

委員長 瀬野 長久

(今治南 RC)

ロータリークラブの長期交換は、1920年代にヨーロッパの少数のクラブ間で始まっておりま

す。
2670地区(旧・368地区)では、1964年に松山東 RCとアメリカ・ニューヨーク・717 地区との交換が始まりです。

毎年8,000人以上が、80か国以上で交換が行われており、日本では毎年、約190名の学生が派遣、受入をされております。

青少年交換プログラム・YEP(Youth Exchange Program) 長期交換の目的は、

- ・異文化を体験させ国際理解と世界平和に貢献できる様な若者を育成する。
- ・受入学生のホストをし、異文化・国際理解をして国際親善をする。

です。

決して語学研修がその目的ではなく、留学でもありません。決められた派遣地区のホストクラブのホストファミリーにホームステイをして国際理解と国際親善をして善意と理解の2670地区、日本を代表した民間親善大使として活動・活躍をしてもらうことです。

2021-2022年度も昨年度に引き続き、RIの理事会において COVID-19(新型コロナウイルス

ス)、コロナ変異株の感染拡大を鑑み、2022年6月30日まで青少年プログラムを一時停止することが決定しており、「安全ガイドライン」に基づく追加の安全対策(新型コロナウイルス感染症関連)を遵守した「危機管理計画(CMP)」を策定しなければ青少年交換プログラムを実施が出来なくなりました。

RIJYM(国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構)事務局が2021年12月末までを目途にRIJYM版「危機管理計画サンプル」を作成しますので、地区はこのサンプルを参考にして「2670地区危機管理計画」を策定しなければなりません。

お世話クラブの関係各位にもご協力を頂き、情報・資料等の提供をお願い致しますので宜しくお願い致します。

コロナ禍の終息後には、ロータリー青少年交換プログラム・長期交換をより充実した内容として実施出来る様に準備を進めていき度いと考えております。

会員各位のご理解、ご協力の程、引続き宜しくお願い致します。



国際短期交換プログラム

「青少年短期交換プログラム」につきまして

2021-2022年度 国際奉仕委員会 短期交換小委員会

委員長 竹内 康祐

(高知西 RC)

今から43年前、当RI2670地区・梶浦 PGと米国ニュージャージー州北部（以下NJと略）RI7475地区 PGロス・レドモンド氏、スベン・ジョンソン氏らのご尽力により、両国間での夏休みを利用しての学生交換ホームステイプログラムが第1回国際短期交換プログラムとして始まりました。これまで、両国から2000名以上の学生が参加し、本プログラムがきっかけで将来の進路を決定、現在両国内で活躍されている方も大勢いらっしゃいます。

四国からの派遣学生募集は、ガバナー月信1月号で告知されます。派遣チームメンバーは、ロータリアンのチームリーダー1名（ご夫婦の場合は2名のチームリーダー）、アシスタントリーダー（ロータリアンでなくても可）1名もしくは2名を含め30名までです。

派遣期間は、例年7月下旬もしくは8月初旬に日本を出国し、約3週間、NJ北部3ブロック内の各家庭でホームステイを行います。各クラブより推薦された学生は、次期ガバナー補佐と分区委員による分区面接、さらに地区最終選考面接、オリエンテーションを経て、合格者が正式な派遣学生となります。帰国後、派遣学生は感想文を提出し、これらを1冊の報告書にまとめ、RI2670地区事務所、推薦クラブ、推薦学校などの関連した機関へ配布します。また、推薦クラブの例会に出席し、お礼と報告を行います。

NJからの受入チームも四国チーム同様の構成メンバーで、6月下旬もしくは7月初旬に来日します。両国の受入期間と派遣期間が重なることは

ありません。京都、大阪、広島などでの観光を含め、四国4県に約3週間滞在、各県ごとに1家庭につき2名1組の学生の受入をお願いしています。受入を最初に行う県ではウェルカムレセプションを開催し、各県ごとの受入式でホストファミリーへの引継ぎを行います。最後の受入県では、最終日にフェアウェルパーティーを開催し、さらなる交流を図ります。

短期交換小委員会は、国際奉仕委員長、短期交換委員長、12名の短期交換委員で構成されています。プログラムは、ガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、次期地区代表幹事のほか大勢のロータリアンの皆様のご協力を得て実施されています。毎年1月に第1回委員会を開催し、実施までの約半年間、受入と派遣の準備を同時に進めます。特に次期ガバナー補佐と短期委員の皆様には、会場設営、ホストファミリー選定、派遣学生面接、人数調整、スケジュール調整、学生の資料作成など、様々な場面でお世話をさせていただいていることをご報告させていただきます。

この素晴らしいプログラムが、より多くのロータリアンの皆様のご協力により、さらに発展していくことを心より願います。

なお、「2021年－2022年度青少年短期交換プログラム」は、新型コロナウイルスの感染が世界各地で拡大している状況に収まる気配がなく、昨年11月、派遣先のNJ側に中止を提案、協議の上、中止することになりました。2年続けての残念なお知らせとなりますが、ご理解、ご了承をいただ

きたく存じます。NJ側の責任者、ジム・アリソン氏から寄せられたメッセージを以下に記載いたします。

「四国側の中止の提案に対して、悲痛な思いになりました。多くの生徒たちも悲しみに暮れることでしょう。しかし、この提案は、間違いなく正しいものであると信じています。ワクチンが行き渡りプログラムが実施できるようになったと確信できるようになるまでには、立てるべき計画、努力を払うべき課題が非常に多く残されています。プログラムに関わるすべての人たちの安全を考えますと、延期すべきです。みなさんと共に活動できる日が来ることを楽しみにしております。

ジム・アリソン氏からのメッセージにもありますように、プログラム再開に向けて、条件や環境の整備など、短期交換小委員会を中心に取り組むべきことが山積しておりますが、引き続き、ご協力、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



国際奉仕ファンド小委員会の活動について

2021-2022年度 国際奉仕委員会 国際奉仕ファンド小委員会

委員長 **伊勢 英利**

(鴨島 RC)

第2670地区のロータリアンによる国際奉仕プロジェクトを全面的に支援することを目的とし、ファンド補助金申請のプロジェクトの内容を精査し、国際奉仕事業の実施に向けて支援いたします。

奉仕プロジェクトの実施にあたり、基本的には現地のクラブ(マッチドクラブ)との共同の奉仕活動となりますが、マッチドクラブが存在しない場合、過去に委員会にて紹介させていただいた事例もあります。

また、ロータリークラブが存在しない国で奉仕活動を実施する場合はゾーンでの対応も可能で、必要に応じて事情が許せば委員会より人員を派遣することも考えています。国際奉仕活動の入門編として多くのクラブの参加をお待ちしております。

現在、COVID-19が世界中で猛威を振るう中、海外での奉仕活動は極めて困難な状況となっています。委員会としては、未だ行政の手が十分に届いていない途上国に於いて、人道的な支援活動の一助となれますようにと申し合わせています。



地区青少年奉仕プログラムと危機管理

2021-2022年度 青少年奉仕委員会

委員長 **藤原 賢治**

(徳島プリンス RC)

2020年2月より日本国内においても、また世界中を震撼させたパンデミック新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は残念ながらまだまだ収束の兆しがみえません。

一昨年度(2019-2020年度)下半期以降、クラブ例会の「休会」、地区行事ならびに地区青少年奉仕活動も…「中止」「延期」が続いて参りました。

安全安心に青少年プログラムが遂行出来るよう地区委員の皆さんと共に進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、やむなく「中止」「延期」の決断を余儀なくされてきました。

しかしながら、長きに渡り地区内において、インターアクトクラブ・ローターアクトクラブの活動、41回開催した「RYLAセミナー」、43回開催した「少年少女キャンプ」と青少年奉仕プログラムを遂行してきただけに、多くの子供たち、青少年の皆さんの「命」と「安全」を守ることを最優先に考慮し、事業を途絶えることが無いようにしていきたいと常に思っております。

「いかに安全・安心に遂行できるか」を考え行動する事を、このコロナ禍で各委員会プログラムに沿って、危機管理計画・ガイドラインを今年度しっかり策定して参りたいと考えております。

地区青少年奉仕プログラムも参加する青少年の皆さんの「命」と「安全」を守ることを最優先であることを考慮した「地区危機管理計画ならびにガイドライン」の策定が求められます。

そこでプログラムに準じた以下のような危機管理のガイドライン策定を考えております。

◇ パンデミック(新型コロナウイルス感染症: COVID-19含む) 発生に伴う対処

- 政府方針ならびに都道府県方針に優先遵守
- プログラム開催施設等の制限等留意事項に基づいた適正な実施
- 感染防止策の徹底(個人・主催者側の責任行動)

◇ 気候変動による自然災害、南海トラフ巨大地震を含めた防災・減災の対応策

- プログラム開催中における対処(人命被害の防止策)
- 緊急連絡網の確立
- 近隣地区との連携・協定締結

◇ ハラスメント対応

- ロータープログラムにおいて発生した場合の対処(相談窓口開設等)
- ローターアンの対応マニュアル策定

◇ セクシャリティ(LGBTQ)の配慮

- 参加する青少年に対し配慮した対応策(自己申告出来る環境等)等々

今一度青少年奉仕プログラムに参加する青少年の安心安全を確保するために、「危機管理計画」を地区最高責任者であるガバナーは勿論の事、地

区危機管理委員会で事案をしっかりと検討、策定して74クラブのクラブ会員の皆さんと共に、ロータリーファミリーの一員であるインターアクター、ローターアクター、プログラムに参加するRYLA受講生(ライラリアンも含め)や、地域の少年少女の皆さんを守りたいと考えます。

感染症拡大で混沌とした昨今において、今一度、多様性・公平性・開放性のRI中核的言葉に沿い、また「つながり」をもって、青少年が関わる青少年交換ならびに青少年奉仕プログラムの危機管理計画を策定し、更なる邁進をして参りたいと考えます。

引き続き、地区青少年奉仕活動にご理解、ご尽力を賜りますようどうぞ、宜しく願い申し上げます。



新型コロナ禍の2021-2022年度 地区テーマ 「Grow Rotarian」

インターアクトクラブの活動について

2021-2022年度 青少年奉仕委員会 インターアクト小委員会

委員長 門田 義仁

(仁淀 RC)

2021-2022年度国際ロータリー第2670地区、青少年奉仕委員会インターアクト小委員会委員長を拝命いたしました、仁淀ロータリークラブの門田義仁です。

私がインターアクト小委員会に出向してから約10年が経過しました。明德義塾高等学校インターアクトクラブとともに、会長幹事会、年次大会に参加し四国各校からのインターアクターとの交流を通じて活動の糧として来ました。

ある年、担当先生が転勤で不在となり、クラブ活動・運営が立ち行かなくなり、やむなく私と元担当の先生と二人だけで、会長幹事会、年次大会に参加していました。二人だけでも参加しないといけない理由がありました。それは明德義塾高等学校が、会長幹事会、年次大会を主催しなければならない年が迫っていたからです。しかし一度途切れたクラブを、クラブ員を集め指導するには、あまりにも時間が過ぎました。

青少年委員長、インターアクト委員会メンバーと相談し、年次大会主催を先送りしていただくことになり、その間にクラブの再編をしようと決めました。

そのころに明德義塾高等学校には新しい校長が就かれました。早速校長に面談を申し出ました。インターアクトクラブの内容、活動を理解していただき、担当の先生も決まり、文化クラブのボランティア活動をしている生徒をメンバーにできました。こうして明德義塾高等学校インターアクトクラブが再編できました。

それから数年、先送りしていた年次大会を、2020年7月末に開催することが決定。その準備を進めていく中で、新型コロナウイルスの感染拡大という大障壁に阻まれ、中止を余儀なくされてしまいました。

明けて2021年、新型コロナウイルスもワクチンが開発され、感染も抑え込まれていくだろうとの明るい情報も入ってきました。4月には案内文を出し、連休明けには参加の返事をいただくまでのスケジュールを決定しました。

4月に入り、今年は間違いなくできるだろうと、各クラブ、提唱クラブに案内文をお送りしました。ところが第4波といわれる大感染が発生し、都市部はもとより、四国四県でも毎日二けたの数字で感染が拡大してきました。

このままでは昨年よりもひどい状況が起こるのは必至で、参加を考えていた学校も辞退を検討しているのだろうと思っています。ワクチンの投与も遅れがちになっている中、今年も中止せざるを得ないかと考えながらも、今年やめれば2年続けての中止となります。

2年続けての中止は避けなければならないと思っています。山形の全国大会が、各地の活動を報告書にまとめ配布したような方法もあります。

参加校はなくても、明德義塾高等学校からの発信と、各校の日頃の活動をアナウンスできる方法を見つけ実行したいと考えています。

委員長としての1年間、インターアクト小委員会の皆様には、事業のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



ローターアクトクラブの活動について

2021-2022年度 青少年奉仕委員会 ローターアクト小委員会

委員長 **西本 隆信**

(高知西 RC)

1. ローターアクトクラブとは

ローターアクトは、1968年に RI理事会により承認された国際ロータリーの常設プログラムです。ローターアクトクラブは、ロータリークラブ提唱、助言の下に、18歳から30歳までの若者によって構成される組織体です。

その目的は、若者が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を身につけ、それぞれの地域社会における物質的、社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人びとのあいだにより良い信頼関係を推進するための機会を提供することにあります。

2. 地区内のローターアクトクラブと提唱ロータリークラブ

	ローターアクトクラブ	提唱ロータリークラブ
徳島	徳島 RAC	徳島プリンス
香川	香川大学 RAC(学)	高松南
	瀬戸内 RAC(学)	観音寺東
愛媛	新居浜 RAC(学)	新居浜
	松山大学 RAC(学)	松山、松山東、松山西、松山南、松山北、道後、伊予、北条
	松山 RAC	
高知	高知西 RAC	高知西、高知、高知中央、高知東、高知北
合計	7クラブ	17クラブ

学生アクター4クラブ

社会人アクター3クラブ

2021-2022 ローターアクト2670地区役員

役職	地区役員	所属 RAC
地区代表	未定	
地区幹事	未定	
地区副幹事	未定	
地区会計	未定	

地区内全74ロータリークラブの内、17クラブ(約1/4)がローターアクトの提唱ロータリークラブです。地区内の74クラブには、青少年奉仕委員会が置かれていると思いますが、各クラブの委員会の皆さんは、各県で開催されるローターアクトの地区内交流会、地区大会へ積極的に参加し、ローターアクトクラブの活動を知る機会としましょう。

未提唱クラブは、地域の実情を考慮し、地域にローターアクトのニーズが十分あると判断される場合は、ローターアクトクラブを提唱し、青少年奉仕活動を活性化される事を検討して下さい。

ローターアクトクラブの創立(提唱)は、クラブの戦略計画の一つの案件として、中期的に取り組まれる事を推奨します。周年記念事業として取り組むのも一つの方法です。創設(提唱)を検討される場合は、地区委員にご相談ください。

提唱クラブは、会員増強、資金面でローターアクトクラブを積極的に支援して下さい。

また、提唱クラブには、年2回開催される地区ローターアクト提唱クラブ連絡会議への出席義務があります。連絡会議は、ローターアクトの活動を紹介するとともに、問題点を共有し、ローターアクト活性化のため2670地区全体の運営方針を議論する重要な会議です。提唱クラブ間での積極的な議論により、ローターアクトが益々活性化される事を期待しております。

認証から運営までのことの詳細は My Rotary から「ローターアクトハンドブック」が簡単にダウンロードできますのでご参照ください。



RYLA 委員会 2021-2022 年度の方針について

Rotary Youth Leadership Awards

2021-2022年度 青少年奉仕委員会 ライラ小委員会

委員長 **米山 徹太**
(松山 RC)

【当地区の RYLAセミナーは2680地区(兵庫県)と共同開催されています。全国でも珍しい共同開催で、日程も3泊4日と日本で一番長いものとなっております。】

1. 第42回 RYLAセミナーに参加できなかった受講応募者への連絡を継続します。

本来なら大島ガバナー年度に開催されるはずであった第42回 RYLAセミナーは新型コロナウイルスの影響により中止となりました。又、更に残念なことに篠原ガバナー年度も中止となりました。篠原ガバナーも大変残念に思われていらっしゃるかと存じます。従いまして東ガバナー年度が第42回 RYLAセミナーになります。この第42回 RYLAセミナーの受講生募集においては大島ガバナー年度に応募して頂いた方々を主に連絡したいと思います。この時は四国4県から23名がセミナー受講に応募して頂きました。いわゆる「熱い方々」です。連絡を密にとり多くの応募に繋がるよう努力して参ります。

2. RYLAセミナーカウンセラー及び地区内 RYLA委員のチームワークを強固なものにします。

我々の RYLAセミナーの特徴として四国地区ロータリアンが男女2名ずつ(女性はロータリアンご夫人の場合もあります)、計4名・同様に兵庫県からも4名、合計8名がカウンセラーを務めます。篠原ガバナー年度、既に決定していたカウ

ンセラーの方々も RYLAセミナーには参加できませんでした。この方々には来期もカウンセラーを務めて頂くようお願いして参ります。

又、RYLA委員の方々も第42回 RYLAセミナー直前までのモチベーションを維持し更にチームワーク力を上げ来期の RYLAセミナーに取り組んで頂きたく存じます。

3. 他地区との RYLA活動の交流を深め危機管理にも注力します。

冒頭にも申し上げましたが、当地区の RYLAセミナーは2680地区(兵庫)との共同開催でありますから、2680地区の RYLA関係者とセミナーの危機管理について深く打合せ構築していきます。

又、全国の RYLA関係者ともコミュニケーションを密にとり、各々がセミナー開催に当たり実行した危機管理体制を学び当地区の危機管理に活用したいと思います。

4. RYLA学友との連携を更に密にします。

又、ローターアクトクラブとの関係を密にします。

最後に、RYLAセミナー修了生を RYLA学友といいますが、私は彼らのことを将来のロータリアン候補だと考えています。本来ならセミナーで学んだロータリーの理念や友情を忘れないためにも毎年学友主導で RYLA学友会総会を開催していましたが今年は出来ませんでした。コロナ禍が落ち着いたら開催したいと思います。

そして、ローターアクトクラブ(RAC)の行事にも積極的に参加したいと思います。RACからRYLAに参加して頂くことも多くなってきました。又、RACの方の会社の後輩等にもRYLAを推薦して頂くことも多くなりました。逆にRYLA経験者がRACに入会して頂くことも多くなりました。このようにロータリーの青少年奉仕活動が更に活発になるよう努力して参ります。

RYLAセミナーへの受講生の推薦も宜しくお願い致します。受講生達は3泊4日で一生の仲間が出来ます。又、ロータリアンのご参加もおまちしております。ロータリーの醍醐味を感じられますよ。



新世代小委員会「地区活動方針」について

2021-2022 年度 青少年奉仕委員会 新世代小委員会

委員長 山内 浩司

(美馬 RC)

陽春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

新たな年度において新世代小委員会としての活動についてお話しいたします。

残念ながら現在の状況の中、大人数を集めて行う行事の開催は難しいと言わざるを得ません。しかし昨年は我々もコロナウィルスに対してあまりに無知で対応も後手後手になってしまったことは否めません。昨年度の経験を活かし、今できることがなんなのかを委員会で考えていきます。

昨年一昨年度中止となってしまった「青少年キャンプ」を今後どうしていくか。開催は本年度も簡単ではないと思いますが、感染拡大防止がどこまでできるか、そこをよく勉強し、開催の可能性を最後まで検討していきたいと考えています。

また、明けない夜はないようにコロナ禍がこのまま一生続くわけではないと思っています。コロナ禍が終息した際に、できるだけ早く様々なものを取り戻せるように、協議をしていくつもりです。

またこの現状の中、子供たちの生活も変わってしまい、以前と違う悩みも発生しています。子供たちの健やかな成長を助けられるよう問題を洗い出し、その解決法を委員会で検討してまいります。

具体的には「こども食堂」についての支援方法などについて考えていこうとしています。

大変な現在ではありますが、委員会全員で問題を共有し、解決できるよう邁進していきますのでご協力をお願いいたします。

【事業計画】

1. 青少年キャンプの開催への企画立案
2. コロナ禍での新たな問題の対応
3. 「こども食堂」への支援
4. その他



ロータリー財団委員会より

2021-2022年度 ロータリー財団委員会
委員長 **前田 直俊**
(坂出東 RC)

2021-2022年度の RI会長シェカール・メーター氏の RIテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」ということになりました。ロータリー財団部門でも多くの希望あるチャンスを開き doing good in the worldを実践することによって世界理解親善平和を達成できるように努力しなければいけません。RIはこれらをしっかりと推進していきます。ロータリー財団高松管理委員会と RI理事会は微妙ですが立ち位置が少し異なっておりますがともにタグを組んで世界の人々の「健康状態の改善」を目指しております。

ロータリー財団で一番に言わなければならない事は当然エンドポリオですが昨年度からポリオ撲滅から根絶と言う名称に変更されたもののパキスタン、アフガニスタンの2カ国で2017年22例、2018年33例、2019年165例、2020年140例とまだまだ野生株のポリオ発生例が続いております。今年度は4月7日現在パキスタン1例、アフガニスタン1例の発生が見られております。この減少傾向がこのまま続いてくればいいのですが東ガバナーエレクトも指摘されておりますように今後とも力点をポリオにおかなければいけないと思っております。

ロータリーに対するゲイツ財団によるポリオ根絶資金の上乗せは2020年4月1日より3年間延長することが決まっております。

次に補助金に関してですが四国地区はどうしてもグローバル補助金に関して少し弱い面があります。確かにとっつきにくいと言う面がありますが、ぜひ本年度提出されている1件は前向きな姿勢で臨んでいただきたいと思います。最近確かにグローバル補助金に関しては以前よりも条件が厳しくなったようで現地での事前調査等が必要になり、申込書をきちんと作らないと通らないと言うようになってきています。しかし他地区の多くのベテランの方にお聞きしますと申込書をきちんと記載すれば大丈夫ということを確認しました。

地区補助金に関しては2020-21年度74クラブ中52クラブから申請があり現在各クラブがプロジェクトを終了並びに実行中です。4月3日現在新型コロナウイルス感染拡大の影響により2クラブがプロジェクト中止、1クラブがプロジェクトの規模を縮小、3クラブがプロジェクト内容の変更、3クラブが次年度に持ち越ししている現状です。地区補助金奨学生はいません。

2021-22年度地区補助金は74クラブ中51クラブから3月30日締め切りで提案書が上がってきています。地区補助金奨学生はいません。

グローバル補助金については2020-21年度フェイスシールド海外寄贈15,000ドル、全国6地区(2650 2520 2600 2640 2760 2690)の提唱協力によるプロジェクト。

2021-22年度グローバル奨学生については地区にて2名先行済みです。現在ロータリー財団本部へのオンライン申請に向けて準備中です。

次に難関の平和フェローについてですがぜひ平和フェローシップに向けてこの地区からも優秀な力を見出して送り込みたいと思います。毎年ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高130名のフェローが世界中から選ばれロータリーからフェローシップ(全額支給の奨学金)が授与されます。

2002年に創設されて以来ロータリー平和センターは1400人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在115カ国以上で活躍し政府、NGO、軍、教育、法執行機関の他国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮しています。

ロータリー財団における基金の推進については、最近まで四国ではあまりなじみがなかったことですが大口寄付をぜひお願いしたいと思います。他地区に比べて大口寄付が極端に少なく冠名基金(2万5000ドル以上)で昨年一件、一昨年一件と合計2件があるのみです。

2021-22年度日本ロータリー財団の目標は年次基金一人当たり150ドル、ポリオプラス基金一人当たり30ドル、大口寄付(10,000ドル以上)各地区2件から3件、冠名基金(2万5000ドル以上)各地区一件設立ですので強制するものではありませんがご自分の気持ちとゆとりが重なればぜひ推進をお願いしたいと思います。

2021年4月3日現在の RI 2670地区の寄付状況については年次寄付246,064.23ドル1人あたりの年次寄付平均84.07ドルその他の基金36,243.00ドル恒久基金12,094.34ドルで合計294,401.57ドルです。 DDFの寄贈はポリオ30,700ドルロータリー平和センター基金20,000ドル、重点分野: 疾病予防と治療10,000ドルとなっております。

なお DDF残高(2021年4月3日現在)は171,618.88ドルです。年次基金ゼロクラブ0についてはガバナー補佐にも頑張ってください前向きに進められることを期待しています。

最後にトピックとしてロータリー財団より2021年7月1日から有効となる資金モデルへの大幅な変更が発表されました。

1. ポリオプラスへの地区財団活動資金(DDF)の寄贈に対しては国際財団活動資金(WF)から100%ではなく50%が上乗せされる。
2. グローバル補助金のための DDF拠出に対するWFからの上乗せが80%に引き下げられる。
3. 年次基金(シェア)への寄付の5%が運営費としてWFとDDFから均等に差し引かれる。
4. DDFの未使用額を繰り越してできるのは5年間のみとなる。

次年度もご協力をよろしくお願いいたします!!



ロータリー財団委員会

2021-2022 年度 ロータリー財団委員会

実行委員長 **赤松 昭信**

(高松北 RC)

ロータリアンの皆様、又各クラブ財団委員長、委員の皆様には、日頃から財団に対し、格別のご配慮をいただきまして厚く御礼申し上げます。

“ロータリー財団の使命”

「ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組むことで貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和を達成出来るようにすること」

以上が我々ロータリアンに課せられた責務であると考えます。

“未来の夢計画”が発足して早8年目になり、地区の皆様におかれましては、次年度の始動として、昨年度末の管理セミナー(高松、高知)に始まり、2月PETS, DTTS(中村)、3月地区研修。協議会(高知)と開催予定でしたが、昨年度に引き続き中止になり、文書での発表に成りました。

グローバル補助金、地区補助金に付いて2021年7月1日より配分金額が以下のように改正になりました。

簡単に説明しますと、
3年目に地区に帰ってくる金額(DDF)、財団にプールする金額(WF)
 $(DDF + WF) \times 5\% = \text{国際財団運営費}$

又、グローバル補助金を使用しての事業
DDF(100%) + WF(80%) + DDFXクラブ(5%) : 総事業費

DDFの繰越しを5年間に制限、5年を越えると地区の裁量により、ポリオプラス。重点分野の恒久基金(ロータリー平和センターを含む)国際財団活動基金(WF)に適用される。以上が主な改正点です。

グローバル補助金については、下記の7つの重点分野に当てはまらなければなりません。“環境”が重点項目に追加されました。

1. 疾病予防と治療
2. 水と衛生
3. 基本的教育と識字率向上
4. 地域社会の経済発展
5. 母子の健康
6. 平和構築と紛争予防
7. 環境

グローバル補助金を使った以下の事業について、最低3万ドル以上を支給することが出来ます。

1. 対象国のロータリークラブと提携した人道的プロジェクト
2. 職業研修チーム(VTT)
3. グローバル補助金奨学生

資格: 大学院生以上、入学許可を有するもの
期間: 1年以上

2670地区内過去7年間のグローバル補助金を使
っての事業を記載しますと、

●奉仕プロジェクト／重点分野別

疾病予防と治療……………9件
水と衛生……………1件
基本的教育と識字率向上……………1件
地域社会の発展……………2件

合計 13件

●奉仕プロジェクト／国別

タイ……………4件
ブラジル……………3件
モンゴル……………2件
ベトナム……………1件
台湾……………1件
インドネシア……………1件
ペルー……………1件

合計 13件

●奉仕プロジェクト／2670地県別

高知県……………3件
徳島県……………2件
香川県……………4件
地区提唱……………4件

合計 13件

●グローバル補助金奨学生／重点分野別

疾病予防と治療……………2件
母子の健康……………1件
基本的教育と識字率向上……………1件

合計 4件

以上簡単に過去7年間の2670地区グローバル
補助金事業を掲載しました。参考にして頂いたら
幸いです。

グローバル補助金を使って相手国のロータリー
クラブと提携して事業を行う場合、お互いのロー
タリアンを信頼し、尊敬しあいながら事業を進め
て行くのが慣用かと思います。

注：ベトナム国に付いてはロータリークラブが無
いので周辺国のロータリークラブと提携して
事業計画してください。



資金管理小委員会からのお願い

2021-2022年度 ロータリー財団委員会 資金管理小委員会

委員長 堀 祥二

(高松南 RC)

主に地区補助金に関してのお願いとなります。

昨年11月28日、12月6日に開催されたロータリー財団地区補助金セミナーの時に配布した、地区ロータリー財団委員会発行の「2020-2021年度補助金」をよくお読みいただき、タイムスケジュールに沿って、提案書の提出→承認、クラブの覚書(MOU)・申請書・財務管理計画書の提出→承認と進み、補助金の支給→プロジェクトの実施をお願いしたいと思います。そして、プロジェクト終了後2カ月以内に最終報告書および財務報告書の提出をお願いします。

書類の送付に関しては、クラブの覚書(MOU)のみ原本で、その他の書類はコピーを地区にお送りいただき、原本はクラブで保管してください。これらの書類のほかに、以下の書類の保管も大切です。

1. 銀行口座に関する情報(過去の銀行明細書)。
2. 署名入りのクラブの覚書(MOU) を含む、クラブの参加資格認定に関する資料。
3. 計画や手続きを記載した書類。これには以下が含まれます。
 - a. 財務管理計画書
 - b. 書類の保存と管理の手続き
 - c. 銀行口座署名人の引継ぎ計画書、および銀行口座の情報と書類の保管
4. 購入したすべてのものの領収証と請求書を含む、補助金の情報

これらの書類は、少なくとも5年間、クラブで責任をもって保管していただく必要があります。



地区補助金について

2021-2022年度 ロータリー財団委員会 補助金・VTT小委員会

委員長 **青木 博美**

(美馬 RC)

地区補助金は2013年度から、ロータリー財団が創立100周年を迎えたこともあり、制度が大きく変わりました。従来より補助金の割合が増えたことや管理運営が地区レベルでできることになり、事務も簡素化され、大変活用しやすくなっています。

地区補助金は、人道的・教育的・社会的事業を通じて世界や地域社会に貢献し、クラブの活性化を図ることが目的ですので、大いに活用してください。

1. RID2670における地区補助金の補助金額

- (1) 各クラブにつき1プロジェクトを申請することができます。ただし、地区補助金奨学生の同時申請は受け付けます。
- (2) プロジェクトは、「人道的」「教育的」「一般奉仕」「植林」「スポーツ」の分野とし、「植林」と「スポーツ」は800ドルを上限とし、その他の分野に残金を荷重配分いたします。
- (3) プロジェクト総費用予定額の最低30%を各クラブが負担してください。

2. RID2670における地区補助金の主な条件

- (1) 地区補助金は、地区が重要と考える人道的等の分野においてロータリー財団の使命に沿ったプロジェクトを実行してください。

(2) プロジェクトを実施する場合は、「地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件」「クラブの参加資格認定」に従うことや、地区主催の補助金管理セミナーに出席することが必要です。

(3) 地区補助金プロジェクトは、ロータリークラブが主催、または共催(主体はロータリークラブ)となり、ロータリアンの直接参加を含むことが必要です。

3. 地区補助金のタイムスケジュール

期 日	内 容	備 考
2021年3月31日	提案書の提出	各ロータリークラブ
	地区財団委員会にて内容・予算の確認	地区財団委員会
2021年5月31日	MOU、申請書、財務管理計画書の提出	各ロータリークラブ
	申請書の承認、補助金の支給	地区財団委員会
2021年9月1日～2022年6月30日	プロジェクトの実施	各ロータリークラブ
プロジェクト終了後約1ヶ月以内	最終報告書・財務報告書の仮提出	各ロータリークラブ
プロジェクト終了後約2ヶ月以内	最終報告書・財務報告書の写し提出	各ロータリークラブ

2021-2022年度は、51クラブが提案書をご提出いただいております。今年度も素晴らしいプロジェクトを実施して下さるものと期待しています。



ロータリー財団委員会 資金推進小委員会からのお知らせ

2021-2022年度 ロータリー財団委員会 資金推進小委員会

委員長 山崎 広一郎

(高知 RC)

ロータリー財団は“世界でよいこと”を実現するために全ロータリアンが共有する大切な宝物です。と、2013-2014年次報告で報告されています。

ロータリー財団の活動を支援する資金源、これはロータリアンを含めいろんな方々の寄付によってまかなわれます。つまりロータリー財団の基金は、会費ではありません。毎年、財団への年次寄付や恒久基金への寄付によっています。

その上で毎年、財団のプログラムや補助金に参加する事を、全てのロータリアンに奨励する、としています。

以上の事から、年次寄付についてこの第2670地区では、全クラブ参加をめざしています。寄付により資金が充実し、そして活動が開始され、補助金を申請し地域活動を行うことを目標とします。

未来の夢計画から計画実行へ、もう8年が経過しました。

地区補助金のクラブの取り組みは年々理解されてきていると感じています。

補助金の支給金額のアップを目指すには、寄付金納入3年後に地区財団に戻る基金を今年の寄付金のアップで応えることです。

年次基金への年次寄付に、〈ゼロクラブゼロ〉は日本の各地区のガバナーが目指していて、最も注力しているの一つでもあります。

当地区においてもそれは念願であり、多くのロータリアンの努力によって、今年も実現することを目指します。

改めて申し上げますが、財団への基金は、会費ではなく寄付の奨励によるものと理解を深めていく事で、目標に近づく事ができるのではないのでしょうか。ロータリー財団の補助金が、地域社会に貢献するロータリアンの活動を支えているのです。

資金推進委員会の役目は、寄付金がロータリー財団の運営資金なのだとお知らせしていくことなのです。

最後に、みなさんに是非実行していただきたいことがあります。

財団への寄付金は税金控除の対象です。米山奨学への寄付も同様です。

ロータリー財団に、個人のメンバー登録をして税金控除を受けられるようにしてください。

このことも、寄付を補助する方法だということです。

以上、よろしく願いいたします。



ロータリー財団委員会 奨学金・学友・平和フェロー小委員会の活動方針

2021-2022年度 ロータリー財団委員会 奨学金・学友・平和フェロー小委員会

委員長 大森 克介
(松山 RC)

2020-2021年度は新型コロナの影響で奨学生の選考は、リモート選考会の導入など変則的となりましたが、グローバル補助金奨学生2名を選考しました。地区補助金奨学生は残念ながら希望者が有ませんでした。

今年度は正常な選考が出来れば良いのですが。

■グローバル補助金奨学生について

ロータリー財団が設けた7つの重点分野に該当する分野において、海外の大学院で(海外より当地区の大学院に入学を許可された者を含む)、1年以上の就学にグローバル補助金から3万ドルを奨学金として金銭的支援を行い、有為な人材に留学の機会と国際親善使節の役割を付与するものです。

一次選考を2021年11月ころに、二次選考を2022年1月頃に行う予定です。

■地区補助金奨学生について

海外のカレッジ、大学あるいは大学院での1年間の就学に、地区補助金から1万ドルを奨学金として金銭的支援を行い、有為な人材に留学の機会と国際親善の役割を付与することです。

一次選考は2022年3月頃を予定しております。

■当地区のロータリー財団学友会の実情

ロータリー四国学友会として、2013年に発足したのですが、その後目立った活動もなく、ほとんど休会状態で、2020年に再発足する予定でしたが、新型コロナの影響で延び延びになっています。2021-2022年度には、学友会総会を開催し、再発足させたいと思っています。

■平和フェローシップについて

毎年世界中から選ばれる最高100人のフェローを、ロータリー平和センター提携大学で、世界平和と紛争予防の担い手となる人材に育て、平和推進者の世界的ネットワークを築くことです。

関連分野における3年以上のフルタイムの職歴か、ボランティアの経験がある学士号を持った人を対象の修士号取得プログラム50名と、関連分野における少なくとも5年間のフルタイムの職歴又はボランティアの経験のある人を対象の専門能力終了証プログラム50名が有ります。

日本からの申請は少なく、合格者は毎年2～3名しかありませんので希望者が有れば是非推薦をお願いします。



2021-2022 年度の方針

ロータリー財団委員会 ポリオ・プラス小委員会

2021-2022年度 ロータリー財団委員会 ポリオ・プラス小委員会

委員長 **森脇 康之**

(徳島プリンス RC)

○ ポリオウイルスについて

ウイルス性の感染症であり、感染者の殆どは症状が表れず(90~95%不顕性感染)、本人も気付かない間に免疫を獲得しています。

しかし、稀に麻痺の症状が表れます(5%以下)。麻痺が発生してしまった場合、有効な治療方法はありません。

5歳以下の小児罹患率が高いので、過去日本では小児麻痺とも呼ばれておりました。

《世界の現状》

- ・ 1988年には世界で35万症例が報告されておりました。
- ・ 2020年は140症例が確認されております。
- ・ 1988年から比較すると症例数は99.9%減少しております。

○ 日本でのポリオ再流行の可能性

現在日本国内でのポリオ発症はありません。

しかし、海外では現在でもポリオが流行している地域があります。

ポリオは感染していても麻痺の症状がでない場合が多いので、気付かないままに海外から日本へ入国して感染源となってしまう可能性があります。

世界からポリオが根絶されない限り、日本の子供達もポリオ感染のリスクに晒され続けます。

○ 日本国内でのポリオワクチン費用について

日本での最後のポリオ発症から40年が経ちますが、現在でもポリオワクチンの予防接種が公費で行われ続けております。

日本で生まれた子どもは全てこの予防接種を4回受けます。

ポリオ不活化ワクチン一回の費用は約5千円であり、4回受けると子ども一人当たり計2万円となります。

2019年の日本の出生数は86.5万人でしたので、173億円が必要となります。

この費用は各市区町村が負担しておりますので、ポリオを世界から根絶する事が出来なければこの支出が将来に渡り続く事になります。

○ まとめ

ロータリーがポリオ根絶を掲げてから長い年月が経ちますが、これまでの活動はポリオ根絶に向けて着実に進んでおります。

今、根絶の手を緩めるとポリオウイルスは再び世界で流行する可能性があります。そうなるとヒトの移動を介して日本でもポリオが再流行します。

公費による予防接種も継続され続ける事になります。

皆さまにはポリオ根絶の必要性をご理解頂き、引き続きご協力のほど宜しくお願い致します。



米山記念奨学委員会からのお知らせ

2021-2022年度 米山記念奨学委員会

委員長 津田 久敬

(高知北 RC)

2021-2022年度米山記念奨学委員長の津田久敬(高知北ロータリークラブ)です。地区内各ロータリークラブの皆様方には米山記念奨学事業へのご支援・ご協力をいただき、心より感謝いたします。

既にご存知のこととは思いますが、ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは「(1) 学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2) 異文化理解(3) コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

ここ2670地区においても毎年十数名の新規奨学生が配置されておりますが、多くの奨学生がまじめで成績優秀であり、かつ地区のロータリー活動に熱心に参加してくれております。また、いくつかのクラブでは終了したのちも継続的な関りを奨学生とっており、まさに奨学生が「日本と世界の架け橋」となってくれております。

昨年からのコロナ禍においてですら、カウンセラーやお世話クラブの皆様が工夫を凝らし、奨学生が孤独な思いをしないように常に気配り心配りをしてくださっておりました。ご協力に心より感謝いたします。

この米山記念奨学事業は皆様の寄附より成り立っております。そのため、今年も例年通り寄附のお願いをさせていただきます。

地区の目標としては、普通寄附は1名につき6,000円 × 会員数、特別寄附は1名につき10,000円 × 会員数としております。

また、創立記念特別寄附も併せてお願いいたします。

加えて米山記念奨学事業の意義を多くの会員に理解していただくためにも、全ロータリークラブにおいての卓話の実施を目標としておりますので、皆様ぜひ奨学生の卓話例会を開いて、奨学生を呼んでください。

日本と世界の架け橋となる人材を育成するという米山記念奨学事業の目的のもとこれからも多くの奨学生を輩出しひいてはロータリーのよき理解者を増やすためにも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



広報・IT委員会の活動方針

2021-2022年度 広報・IT委員会

委員長 久保 英明

(高知南 RC)

広報・IT委員会の役割は、各クラブの奉仕活動報告などクラブのイメージを紹介して、クラブ内での情報交流はもちろんのこと、地域社会にロータリーの幅広い奉仕活動を広く知っていただくことです。効果的な広報により、地域のニーズに取り組む信頼できる団体としてのロータリーの存在感が高まります。クラブのイメージが向上すれば、積極的な活動への会員のモチベーションも高まり、入会希望者も増えるでしょう。そのために、インターネットや各種の報道メディアを通じて、積極的にアピールしていくように努めましょう。

また、以前より進めております MyRotaryへの登録も引き続き100%を目指していただきたいと思います。未達成のクラブの委員長には登録サポートをよろしくお願いいたします。

東ガバナーはテーマを「成長しようロータリアン」として、厳しいコロナ禍のなかでも基盤拡大とクラブの活性化のために会員増強によるクラブの強化を図る事を運営方針に掲げています。そのためには広報が非常に重要な役割を担うこととなります。クラブ会員増強委員会と相談して対象者を絞り、どうすれば入会への関心が高まるかを検討してクラブに好印象を抱いてもらうように活動しましょう。

イメージを高めるためにロータリーの特徴を全員が理解し、口コミで紹介できるようにしておくことが重要です。目的や価値観を簡潔に紹介できるようにしておきましょう。

たとえば、ロータリーとは「あらゆる分野のリーダーや職業人が力を合わせて、社会に役立つ奉仕活動をしています。」「生涯にわたる友情を育むことができます」などと一緒に「四つのテスト」も理解しやすいと思います。

地区での活動共有も重要ですので、各クラブの素晴らしい活動を積極的に発信してください。地区全体の活性化につながるように月信に掲載していきたいと思いますので、事業報告等を投稿していただけるようよろしくお願いいたします。

広報・IT委員会の活動によって地区の活性化に繋がれば幸いです。今年度も各クラブが会員の積極的参加を呼びかけ会員同士のつながりを広げ、地域社会へのアピールにつなげて行きましょう。



地区大会のご案内

2021-2022年度 地区大会
実行委員長 田辺 豊
(中村 RC)

2021-2022年度「地区大会」実行委員長の田辺豊でございます。

地区大会は地区内ロータリアンが一堂に会し、ロータリーの様々な話題について話し合うことです。地区における奉仕プログラム、プロジェクトの発表や、広報の成功等を紹介することによって会員の奉仕意欲を高め、クラブレベルを超えたロータリーのビジョンを共有しながら親睦を深めることを目的とします。

私どもの中村ロータリークラブから初めてのガバナー選出ということで、2021-2022年度の地区大会は、スポンサークラブであります高知ロータリークラブ様にご協力をいただき、盛大に開催する予定でございましたが、昨年よりの新型コロナウイルス感染症拡大が収まらず、通常どおりの開催が危ぶまれております。

国内でのワクチン投与も始まり、これから秋にかけて感染が収束していくことを願っておりますが、首都圏はじめ地区内におきましても、まだまだ予測できないのが現状です。

地区大会の詳細につきましては、ぎりぎりまで協議を重ね、最終決定となり次第皆様にご案内をさせていただきます。日程につきましては下記のとおりです。

2021-2022 年度 地区大会

2021年10月22日(金)

記念ゴルフ大会 Kochi黒潮 CC

10月23日(土) 地区大会本会議

(高知県民文化ホール)

(2021年4月10日現在)

このような状況下で、地区運営に関しても全ての計画を立てにくい状況となっておりますが、ロータリアンの皆様には充分にご理解いただき、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症が収束し、それぞれのロータリー活動が楽しめる日が一日も早く訪れますことをお祈りしています。

ホストクラブ
中村ロータリークラブ

会長 白木 久雄
幹事 青木 史仁

地区研修・協議会

実行委員長 青木 史仁
S A A 稲田 玲子

部門別地区幹事

クラブ奉仕	杉本 一博
職業奉仕	明神 三幸
社会奉仕	大杉 幸雄
国際奉仕	荒川 泰士
青少年奉仕	白木 久雄
ロータリー財団	一藤 勝之
米山記念奨学	稲田 玲子
広報・IT	岡本 賢人
会員増強	梅原 薫
公式訪問	田辺 豊
ガバナ一月信	上野 力

決算見込み

支 出	
項 目	金 額 (円)
PETS (会長エレクト研修セミナー)	
会場費	390,362
旅費交通費	117,770
印刷費	224,400
記録費	305,400
通信費	20,964
事務費	164,526
小 計 ①	1,223,422
青少年奉仕委員会	
会場費	92,482
旅費交通費	165,310
通信費	4,256
小 計 ②	262,048
地区研修・協議会	
会場費	0
記録費	1,000,000
通信費	140,000
事務費	30,000
小 計 ③	1,170,000
合 計 (①+②+③)	2,655,470

以上のとおりご報告いたします。

2021年4月20日

地区会計長	松田 基
PETS・DTTS 実行委員長	小松 昭二
地区研修・協議会実行委員長	青木 史仁

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

職業人としてのロータリアンの心構えを、ロータリーの倫理基準から具体的に記述した「ロータリー倫理訓」を一般の職業人にも理解できるよう簡潔にまとめたものが「四つのテスト」です。

真実かどうか

「嘘偽りがないかどうか」という意味です。

みんなに公平か

通例の和訳では「みんなに公平か」になっていますが、直訳すれば、「すべての取引先に対して、公平かどうか」を意味します。

ビジネスにおいて、明白で公正な取引を行っているかどうかという投げかけになるでしょう。

好意と友情を深めるか

“goodwill”は好意とか善意を単に表す言葉ではなく、商売上の信用や評判を表すと共に、店の暖簾や取引先を表します。すなわちその商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げ、取引先を増やすかどうかを問うものです。

みんなのためになるかどうか

“Benefit”は「儲け」そのものを表す言葉です。

ただし売り手だけが儲かったり、また買い手だけが得をしたのではなく、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうかを問いかけています。

国際ロータリー第2670地区
2021-2022年度ガバナー事務所

〒787-0029

高知県四万十市中村小姓町46 中村商工会館2F

TEL 0880-31-0171 FAX 0880-31-0172

E-mail : nakamura@rid2670gov.info